

山鹿市総合戦略等に関する市民アンケート 調査結果報告書

令和6年3月

山鹿市総合戦略課

目次

I. 市民アンケート調査の概要	1
II. 回答者ご自身の現状	2
問1 性別について.....	2
問2 年齢について.....	2
問3 お住まいの地域について.....	3
問4 結婚について.....	4
問5 同居されているお子様（18歳未満）について.....	4
III. 山鹿市の現状について	5
問6 山鹿市の人口減少について.....	5
問7 山鹿市の元気度について.....	6
問8 山鹿市の基幹産業である農林業について.....	8
問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について.....	9
IV. 人口政策について	11
問10 山鹿市総合戦略における、 人口政策でもっとも充実して欲しい取組について.....	11
問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について.....	13
V. 経済政策について	19
問12 山鹿市総合戦略における、 経済政策でもっとも充実して欲しい取組について.....	19
問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について.....	21
VI. 山鹿市総合計画について	24
問14 「人輝き飛躍する都市まちやまが」実現のために、 もっとも重要と思われるものについて.....	24
問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の 先導施策の満足度と重要度について.....	26

VII. 山鹿市に対する考えについて.....29

問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか.....	29
問17 山鹿市が暮らしにくい理由の自由記述.....	30
問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか.....	33
(問18) 住み続けたい理由(複数回答).....	35
(問18) 市外へ転居したい理由(自由記述).....	36
問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、 特に重要と思われる取組.....	38
問20 今後、充実すべき取組や新たな取組等(自由記述).....	39

VIII. 市民アンケート総括.....46

<山鹿市の現状について>.....	46
<人口政策について>.....	46
<経済政策について>.....	48
<山鹿市総合計画について>.....	49
<山鹿市に対する考えについて>.....	50

I. 市民アンケート調査の概要

1. アンケート調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

2. 調査対象

山鹿市在住の市民から無作為に抽出した3,000人

3. 調査事項

- (1) ご自身の現在の状況について (問1～問5)
- (2) 山鹿市の現状について (問6～問9)
- (3) 人口政策について (問10～問11)
- (4) 経済政策について (問12～問13)
- (5) 山鹿市総合計画について (問14～問15)
- (6) 山鹿市に対する考えについて (問16～問20)

4. 調査期間

令和6年1月9日(火)～1月31日(水)

5. 調査方法

郵送による調査票の配布
郵送またはインターネットによる回答

6. 回収状況

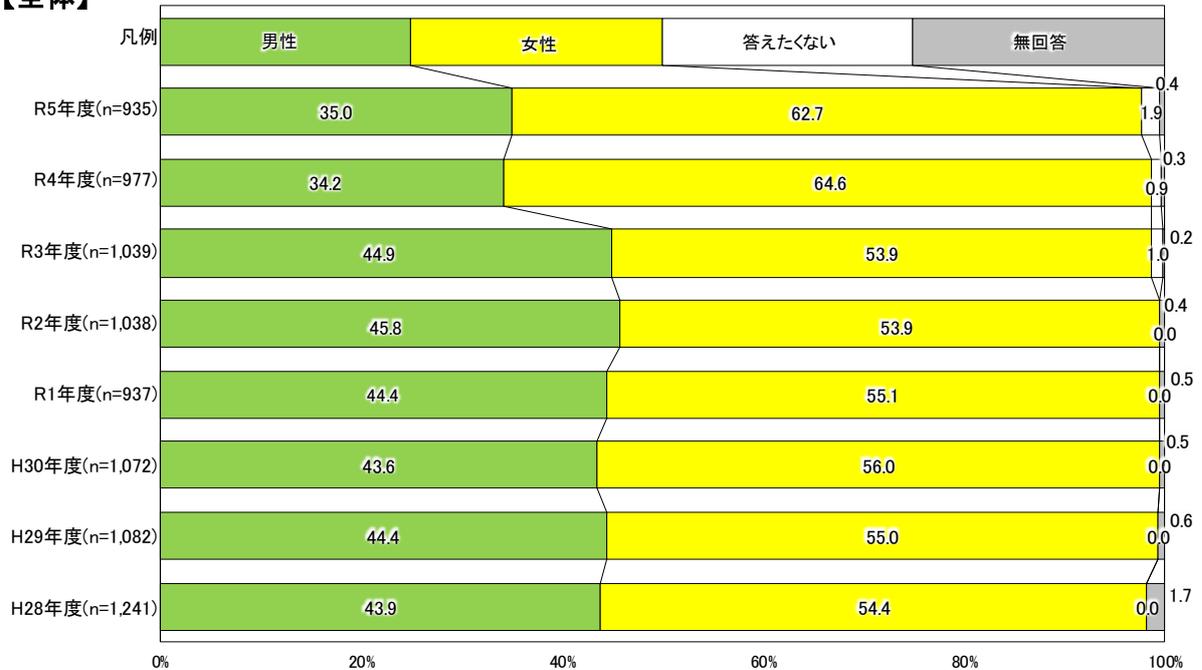
回答方法	配布部数	有効回収数	有効回収率
郵送	3,000	699	23.3%
インターネット		236	7.9%
計	3,000	935	31.2%

Ⅱ. 回答者ご自身の現状

問1 性別について

- ・ 回答者の性別割合は、「男性」が 35.0%、「女性」が 62.7%となっている。R4 年度と比較してもほとんど変わらない。

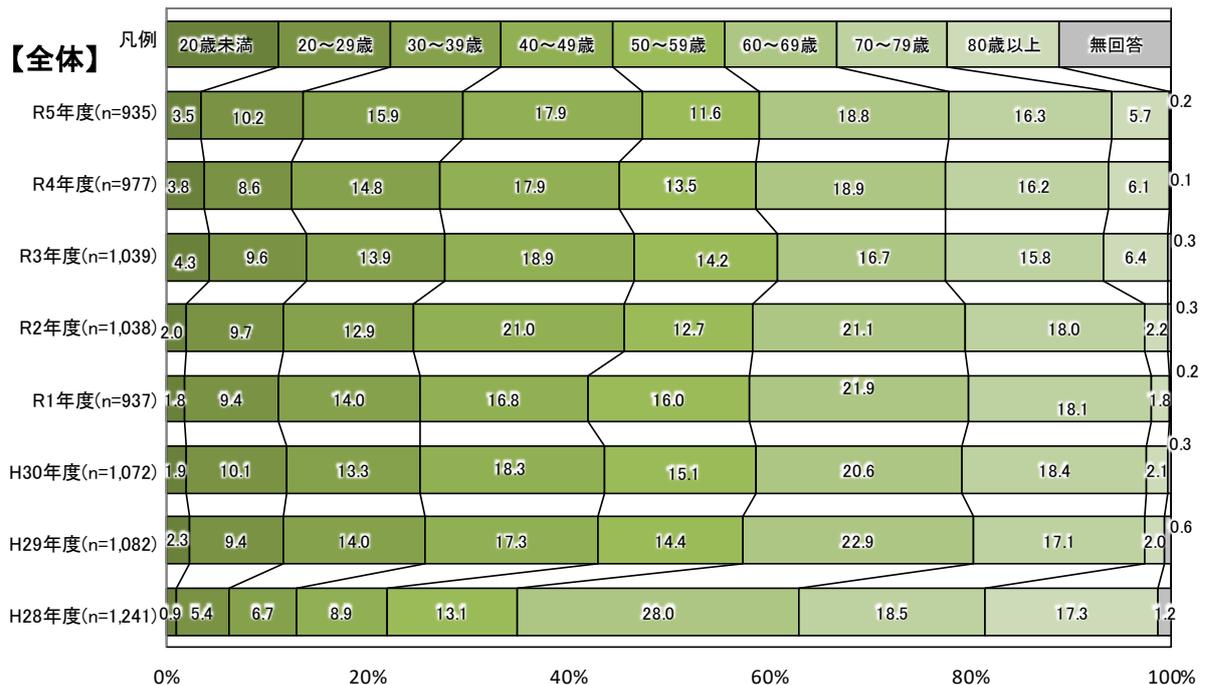
【全体】



問2 年齢について

- ・ 年代別では、「60代」が 18.8%と最も高く、「50代」以降の合計が 52.4%と半数を超えている。

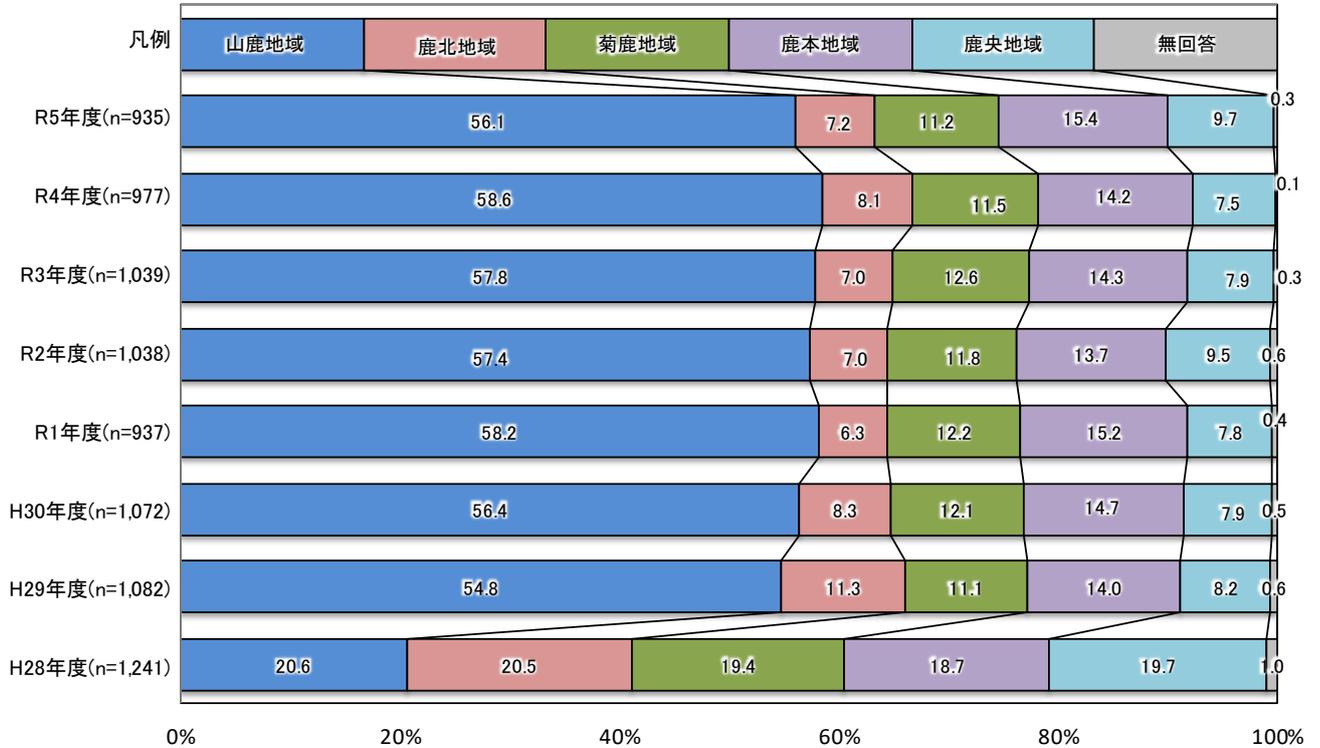
【全体】



問3 お住まいの地域について

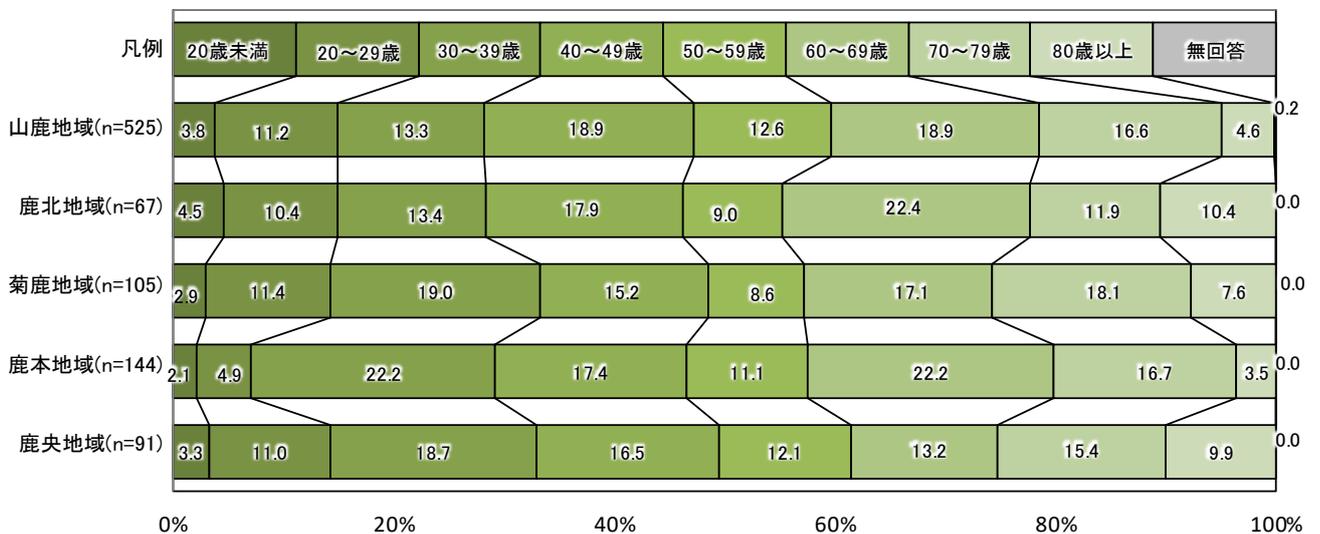
- ・地域別では、「山鹿地域」が56.1%と最も高い。
- ・過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

【全体】



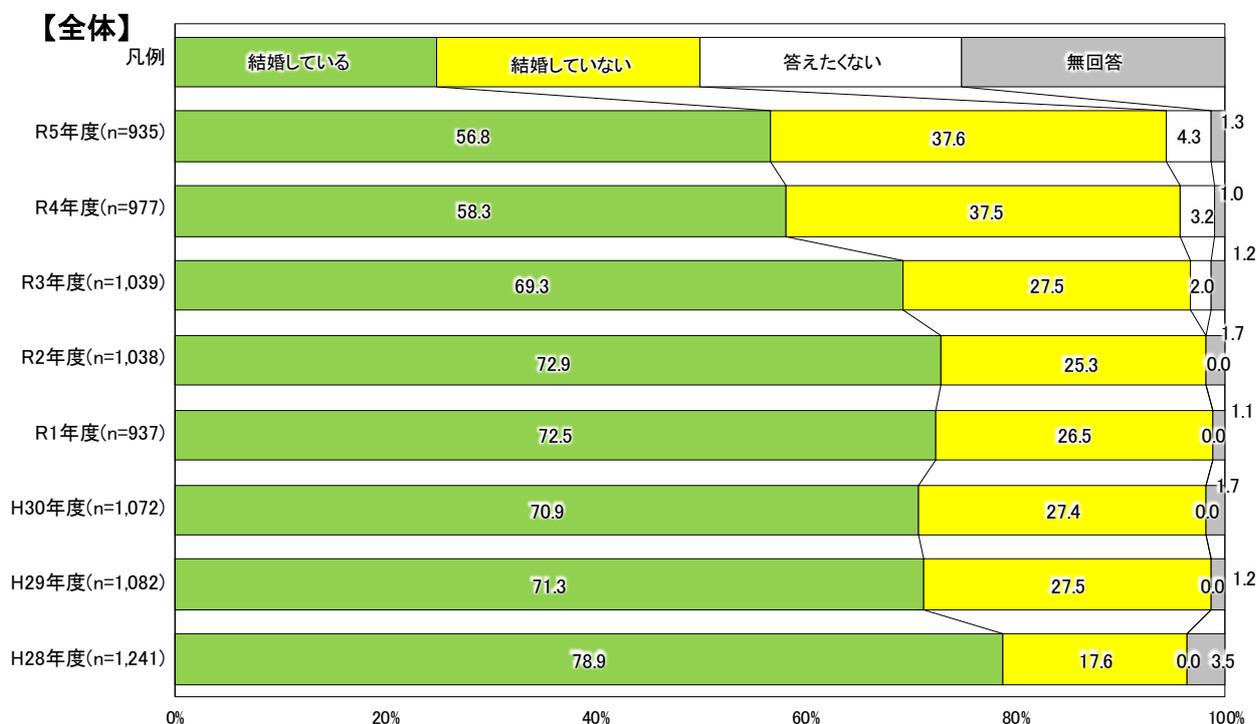
- ・地域別年齢構成では、「山鹿地域」では40代と60代、「鹿北地域」では60代、「菊鹿地域」「鹿央地域」では30代、「鹿本地域」では30代と60代が最も高くなっている。
- ・全ての地域で、50代以降の合計が5割を超えて高くなっている。

【地域別】



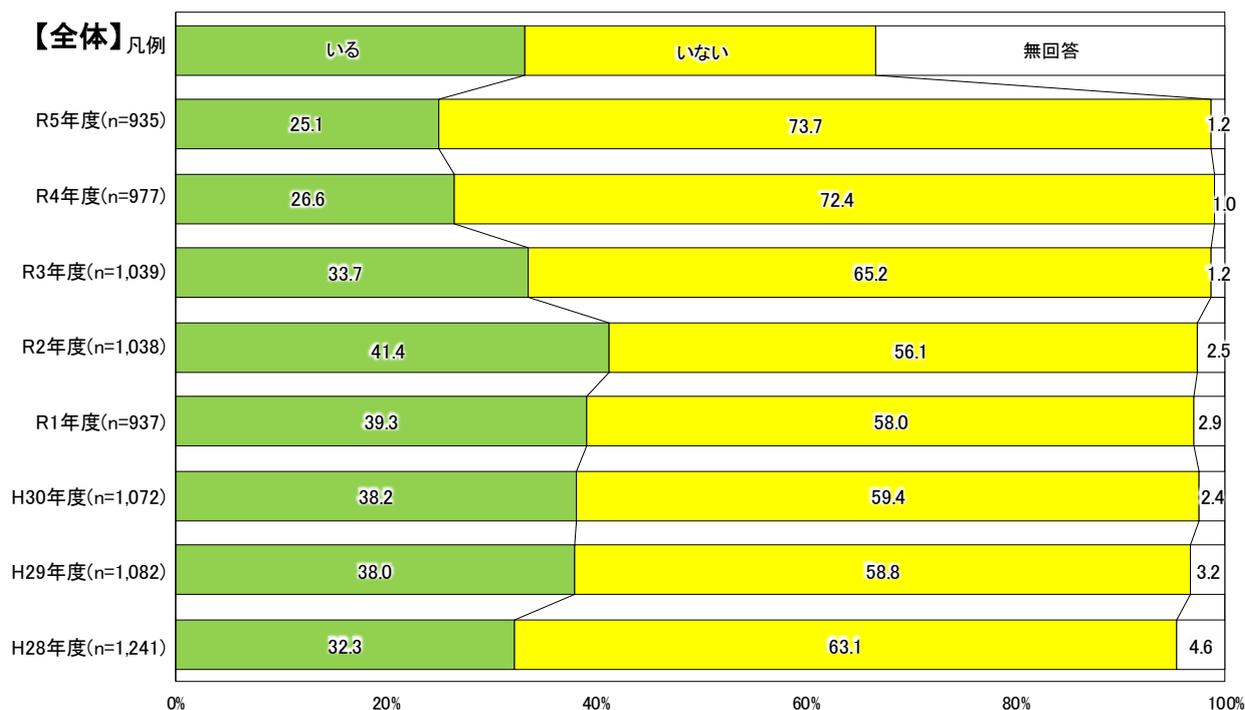
問4 結婚について

・結婚の有無については、「結婚している」が56.8%、「結婚していない」が37.6%、「答えた
くない」が4.3%となっている。R2年度以降、「結婚している」の割合は低下傾向がみられる。



問5 同居されているお子様（18歳未満）について

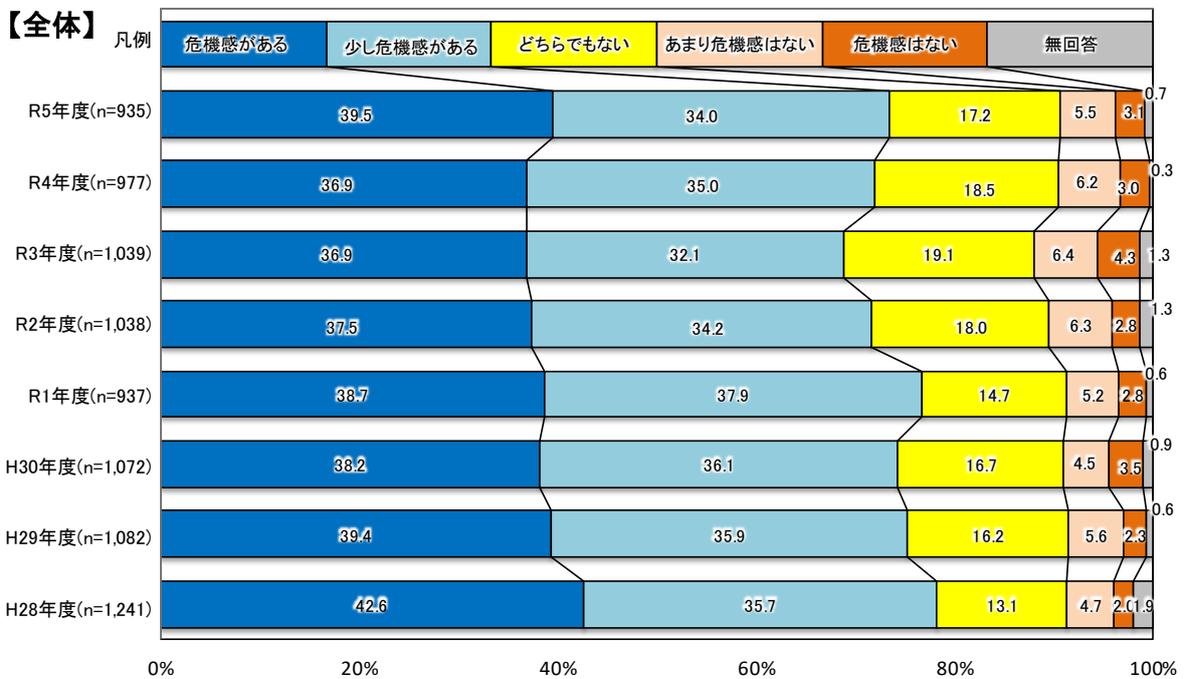
・同居する子どもの有無については、「いる」が25.1%、「いない」が73.7%となっている。R2
年度以降、「いる」の割合は低下傾向がみられる。



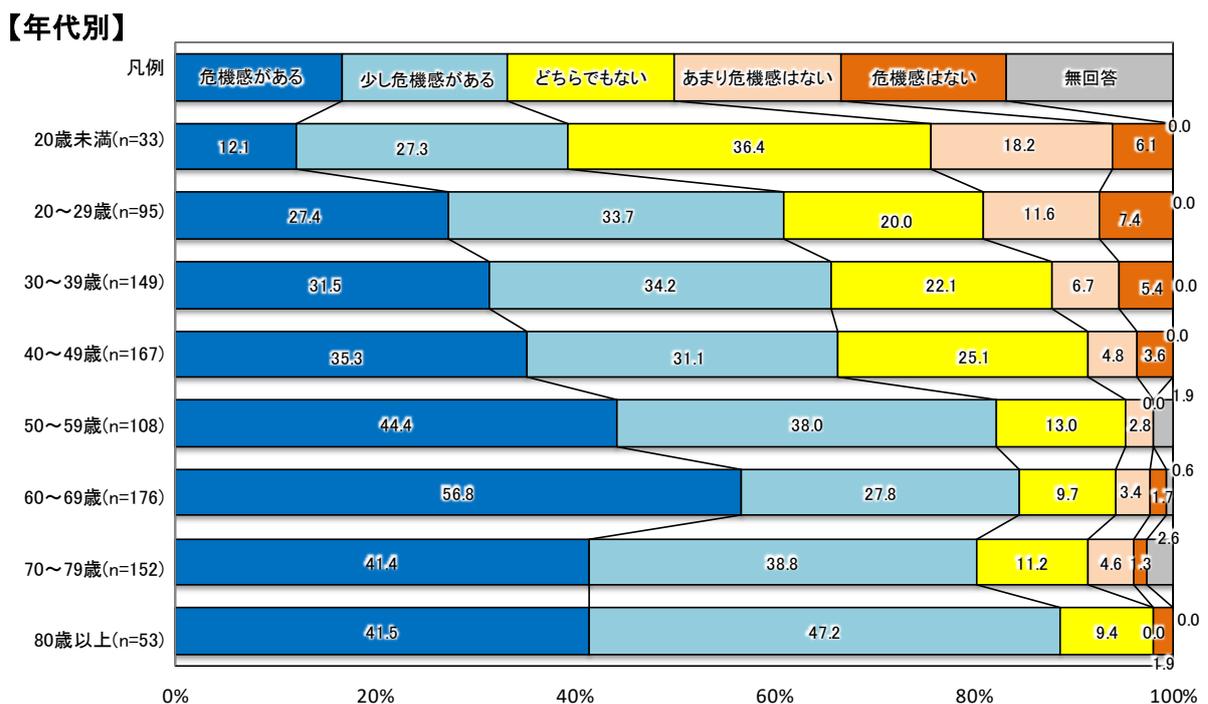
Ⅲ. 山鹿市の現状について

問6 山鹿市の人口減少について

・ 山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が 39.5%、「少し危機感がある」が 34.0%となっており、約 7 割が危機感を感じている。

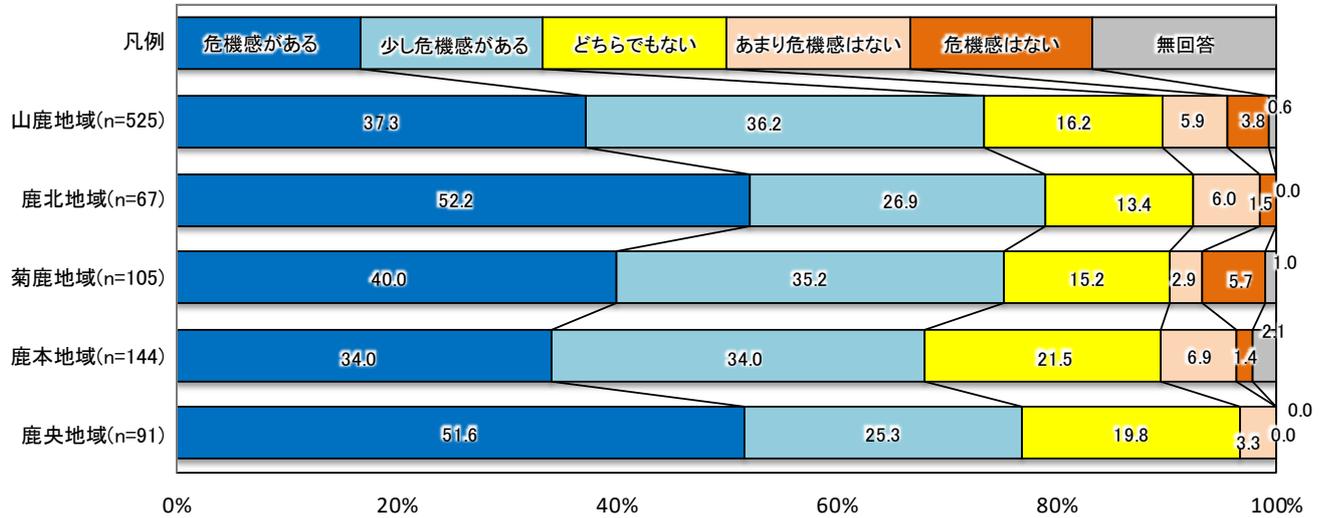


・ 年代別では、20 代以降で「危機感がある」「少し危機感がある」の合計が 6 割を超えており、特に 50 代以降は 8 割を超えている。



・地域別では、鹿北地域で「危機感がある」が52.2%と最も高く、これに鹿央地域の51.6%が続いている。「危機感がある」「少し危機感がある」を合わせても鹿北地域が79.1%と最も高く、これに鹿央地域の76.9%が続いている。

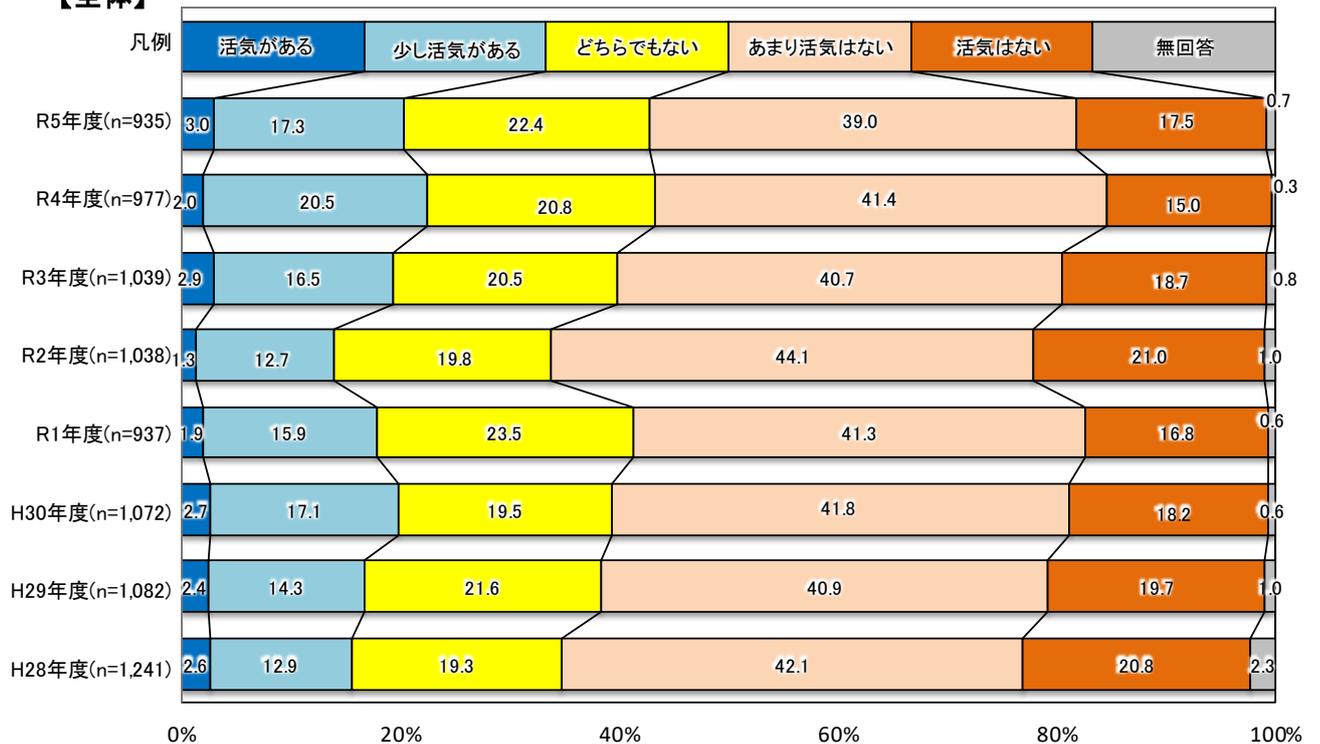
【地域別】



問7 山鹿市の元気度について

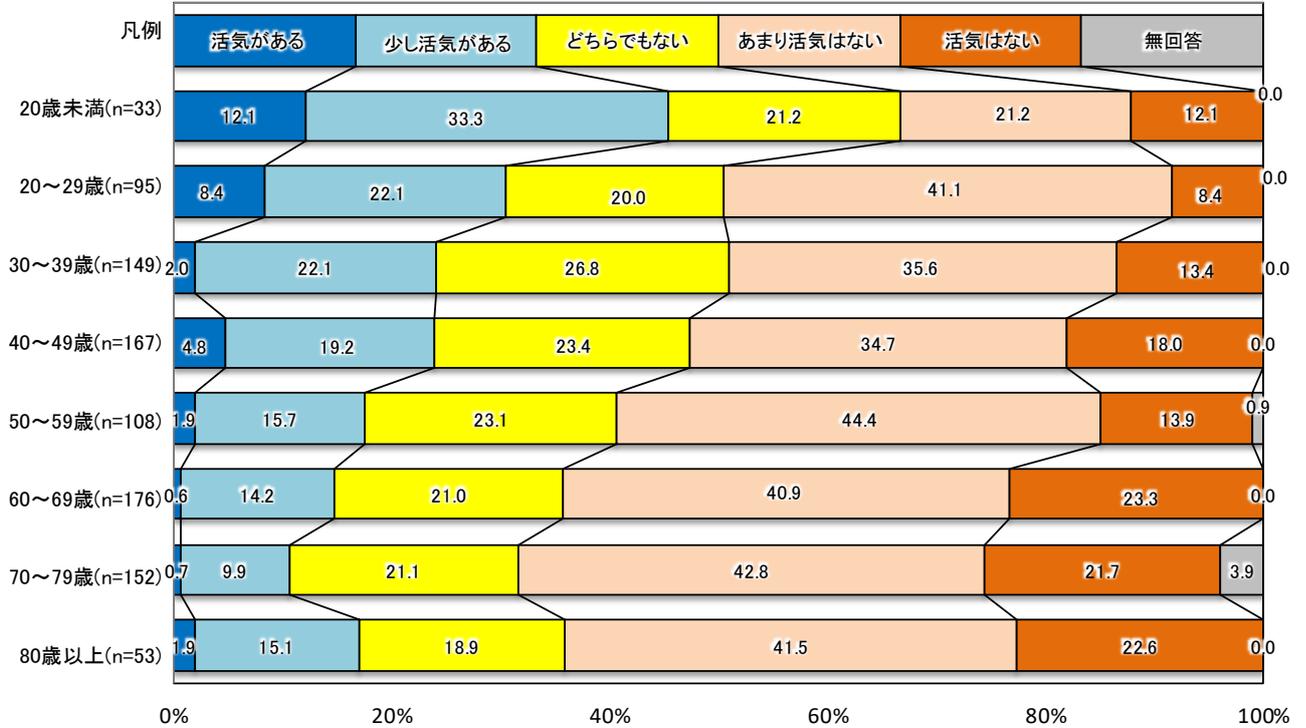
・山鹿市の元気度については、「活気がある」「少し活気がある」の合計20.3%に対し、「活気はない」「あまり活気はない」の合計は56.5%となっており、活気がないと感じている割合が5割を超えて高くなっている。

【全体】



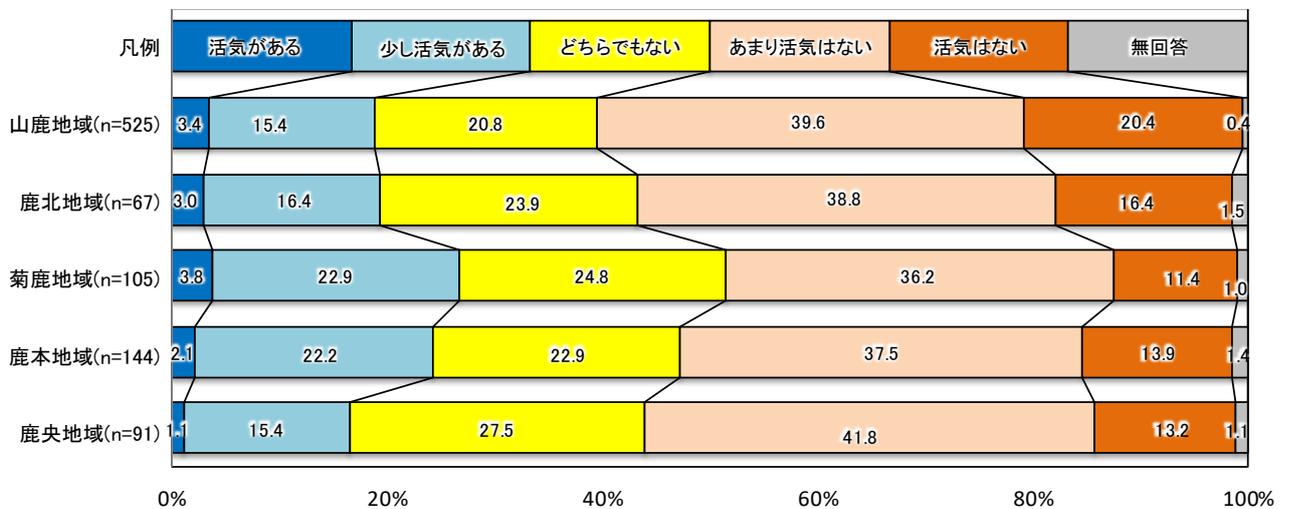
- ・ 山鹿市の元気度について、年代別では「活気はない」「あまり活気はない」の合計が60代以降で6割を超えて高くなっている。
- ・ 20歳未満では「活気がある」「少し活気がある」の合計が45.4%で最も高くなっている。

【年代別】



- ・ 地域別では、山鹿地域で「活気はない」「あまり活気はない」の合計が60.0%と最も高く、菊鹿地域と鹿本地域では「活気がある」「少し活気がある」の合計が約3割と他の地域に比べやや高くなっている。

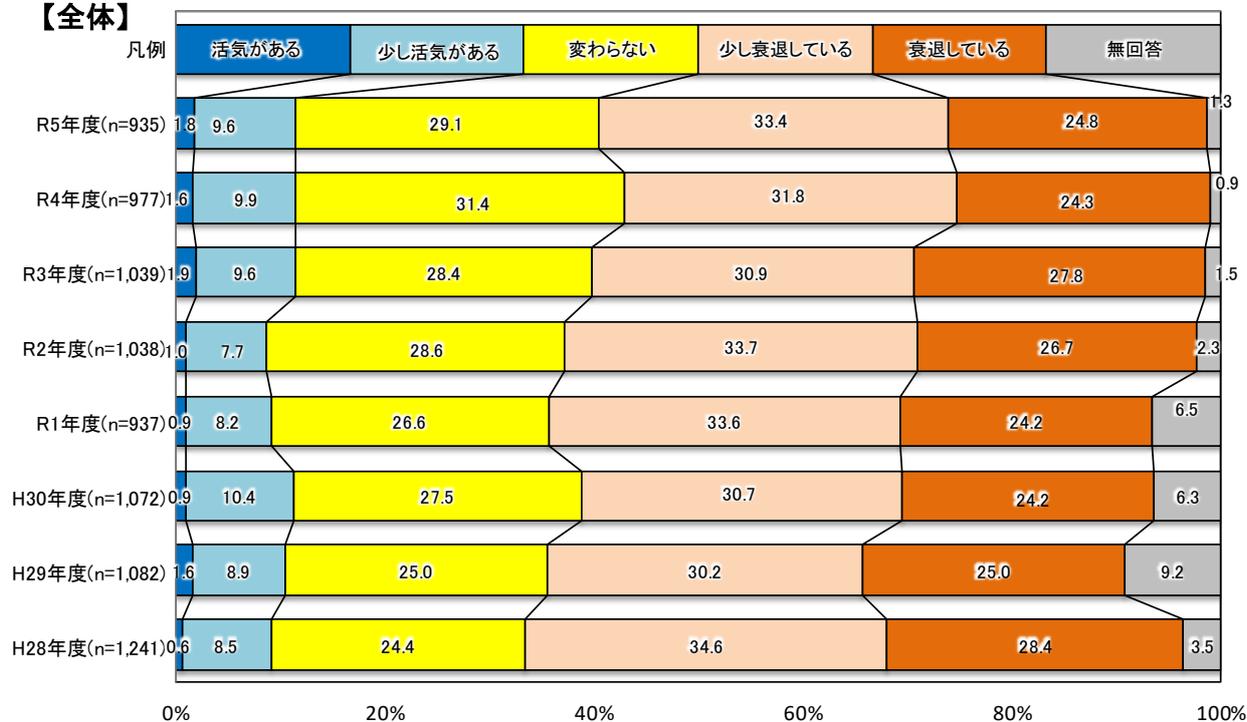
【地域別】



問8 山鹿市の基幹産業である農林業について

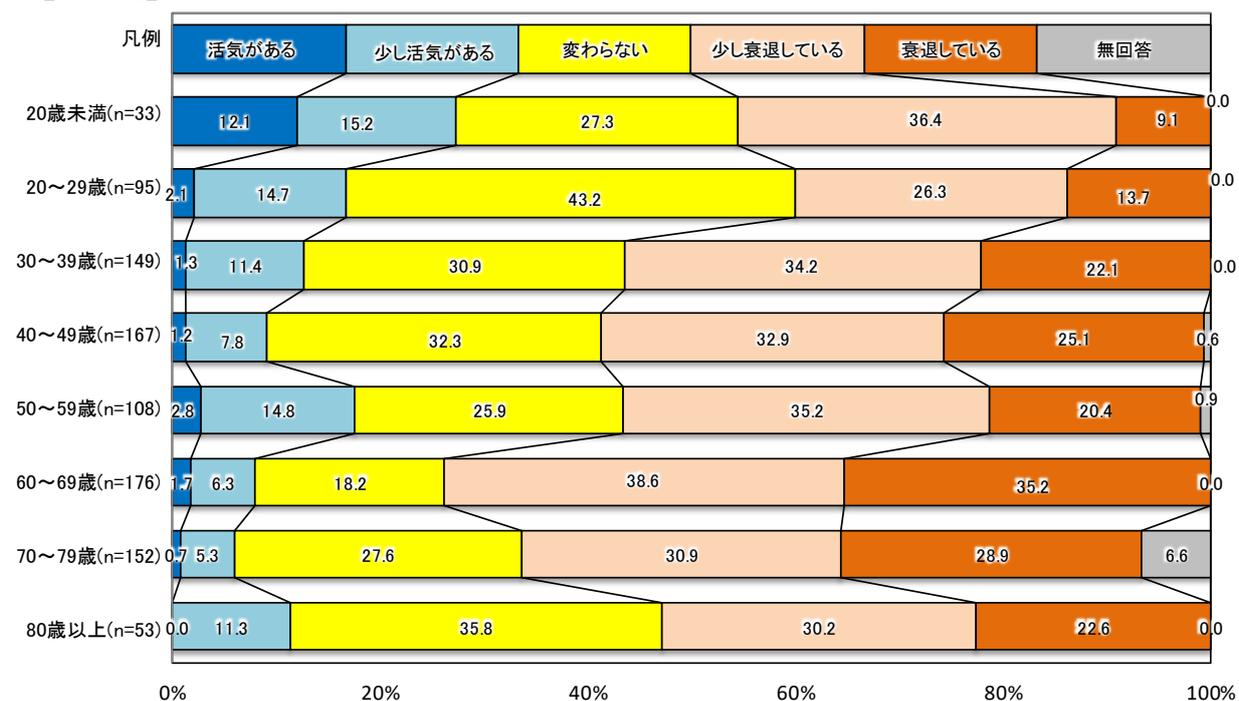
・農林業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 11.4%で、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 58.2%となっている。

【全体】



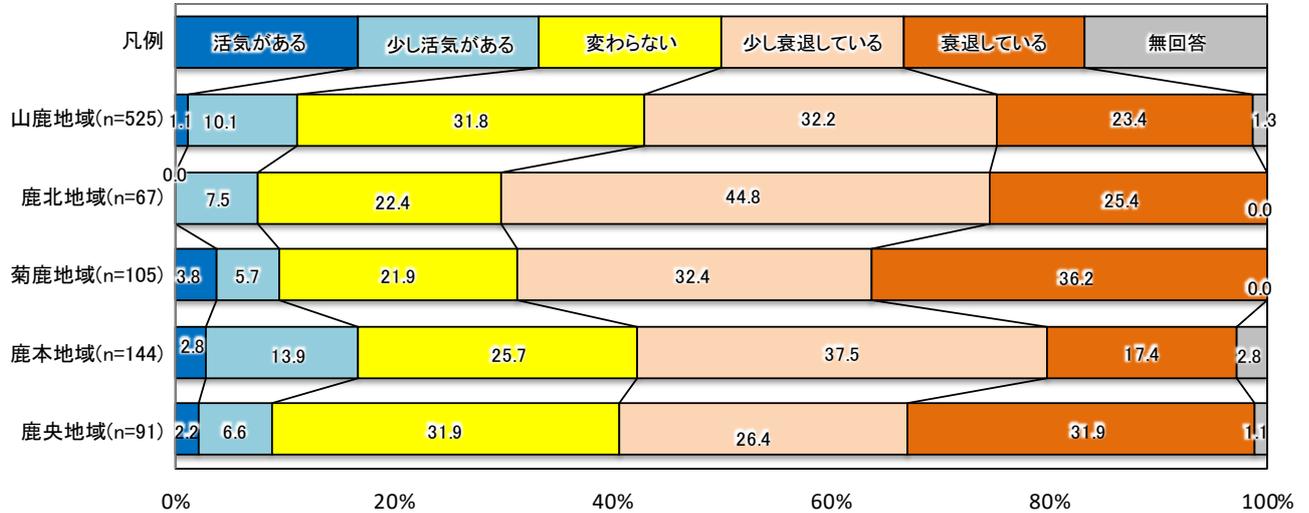
・農林業の現状について、年代別では、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 30 代以降の全ての年代で 5 割を超えて高くなっている。

【年代別】



- ・地域別では、「衰退している」「少し衰退している」の合計が全ての地域で5割を超えて高く、特に鹿北地域では70.2%となっており、他の地域に比べて高くなっている。

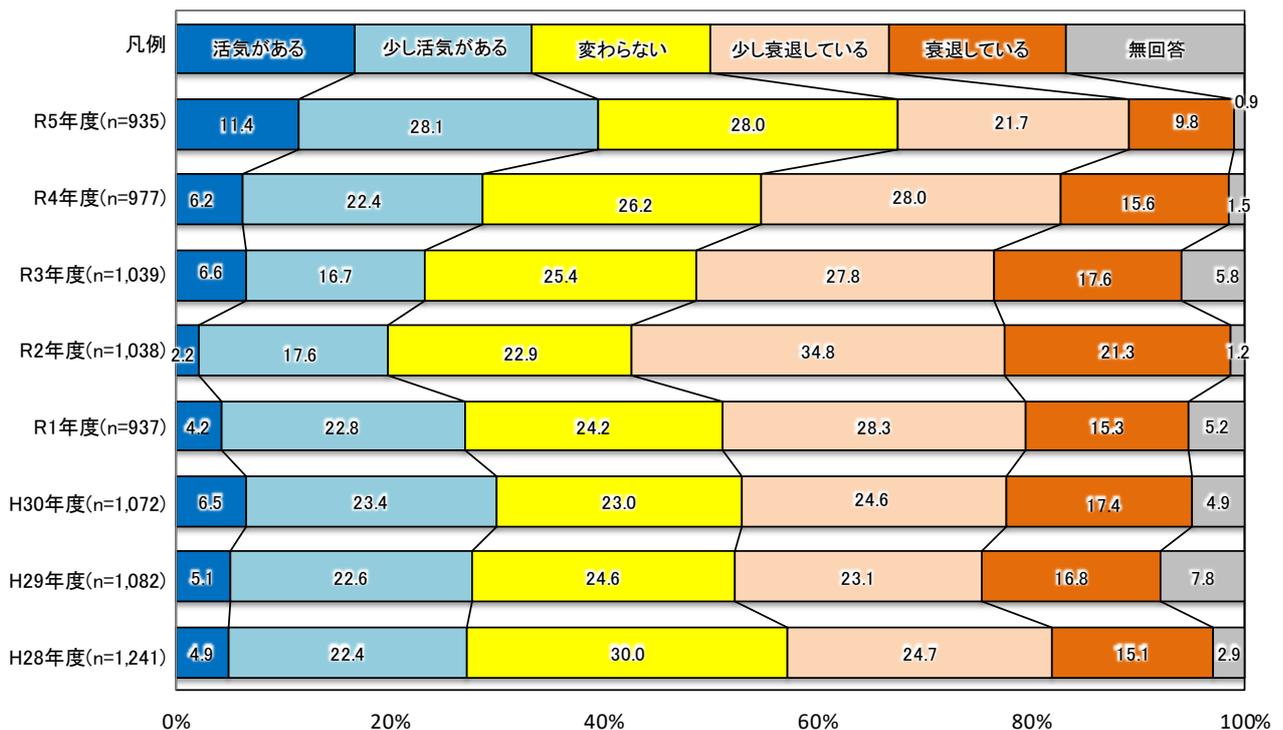
【地域別】



問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について

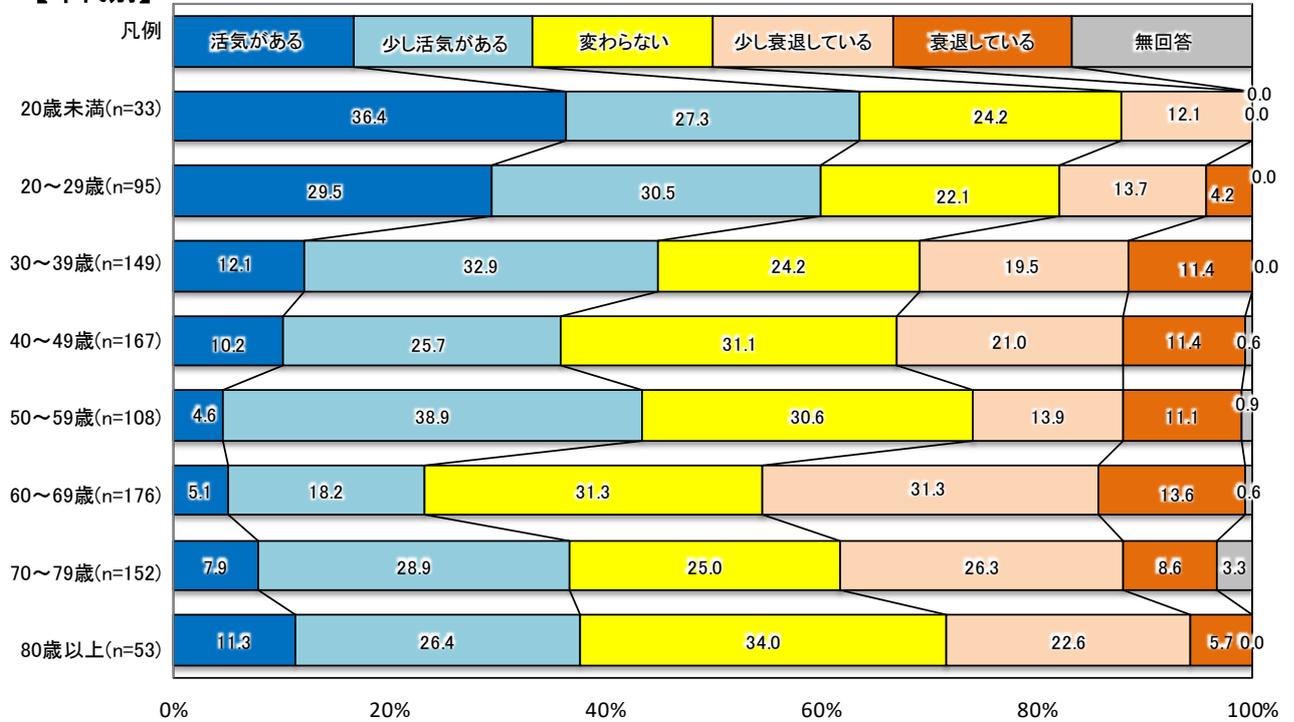
- ・観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は39.5%となっており、R28年度以降最も高くなっている。
- ・「衰退している」「少し衰退している」の合計が最も高くなっているR2年度と比較すると、24.6ポイント低くなっている。

【全体】



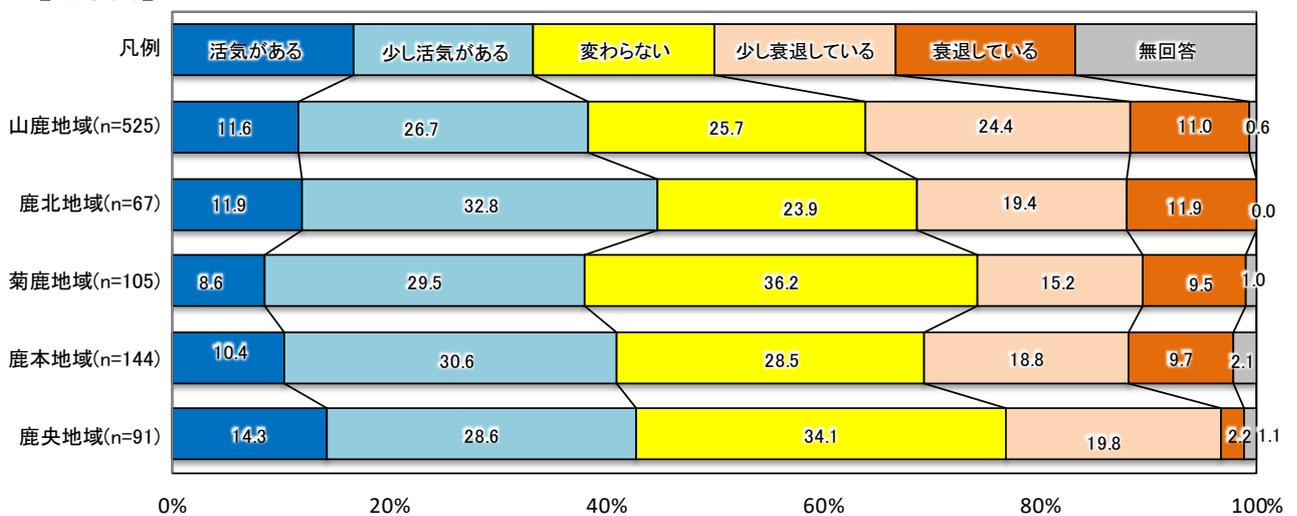
・観光産業の現状について、年代別では、20歳未満で「活気がある」「少し活気がある」の合計が63.7%で最も高くなっている。60代では「衰退している」「少し衰退している」の合計が44.9%となっており、最も高くなっている。

【年代別】



・地域別では、鹿北地域で「活気がある」「少し活気がある」の合計が44.7%で最も高く、これに鹿央地域の42.9%が続いている。山鹿地域では「衰退している」「少し衰退している」の合計が35.4%と最も高く、次いで鹿北地域の31.3%となっている。

【地域別】

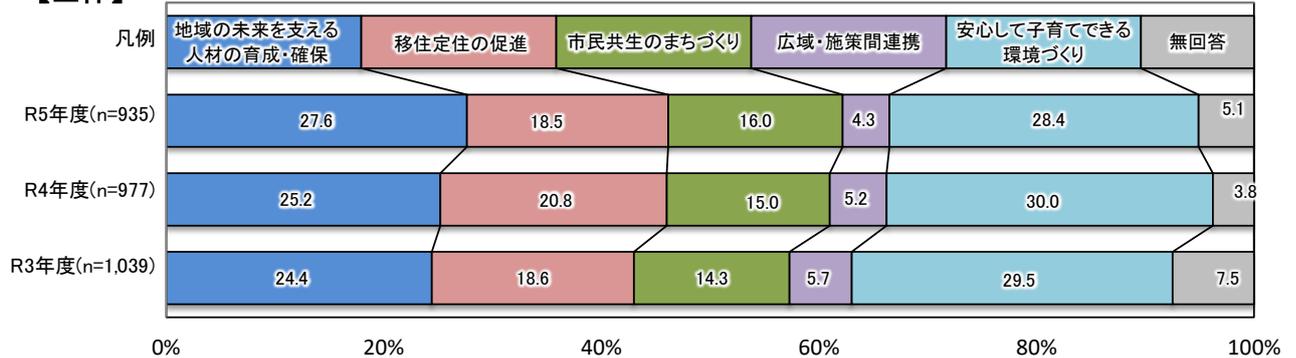


IV. 人口政策について

問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について

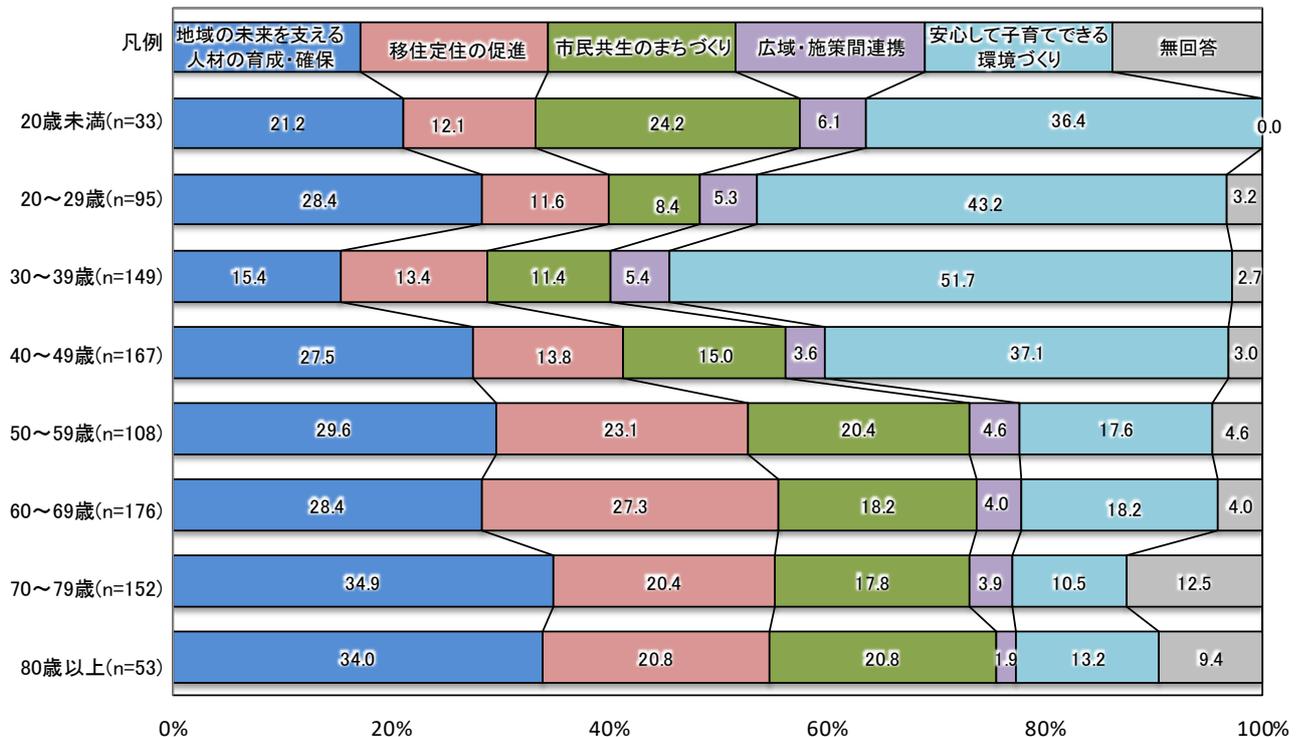
- 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が28.4%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」27.6%、「移住定住の促進」18.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。

【全体】



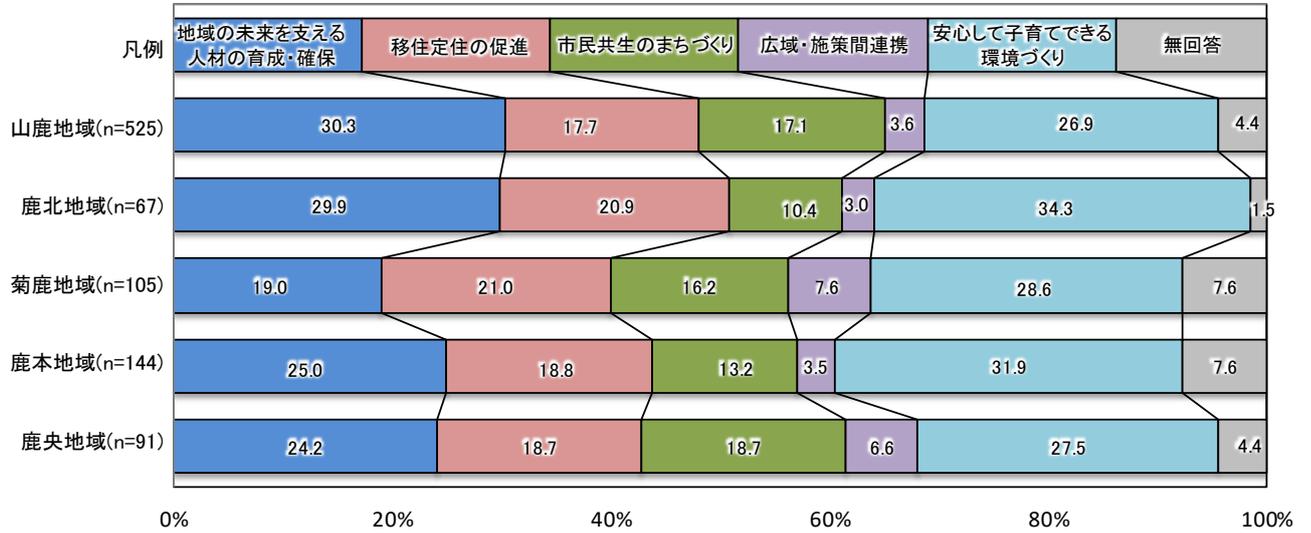
- 人口政策で充実して欲しい取組について、年代別では、40代以下の年代では「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高い。50代以降では「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高い。

【年代別】



・ 地域別では、山鹿地域を除く全ての地域で「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高くなっている。山鹿地域は「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高い。

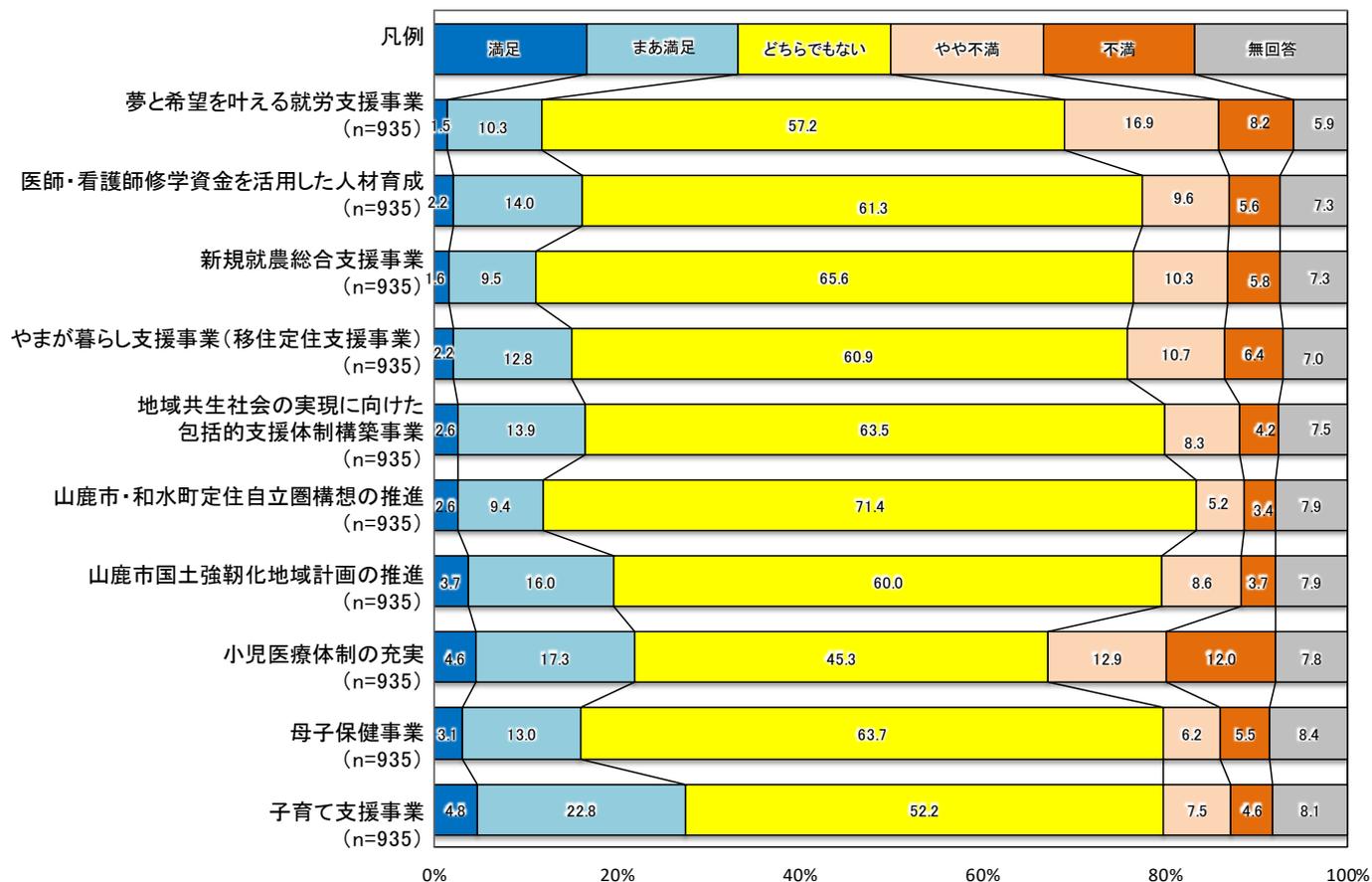
【地域別】



問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について

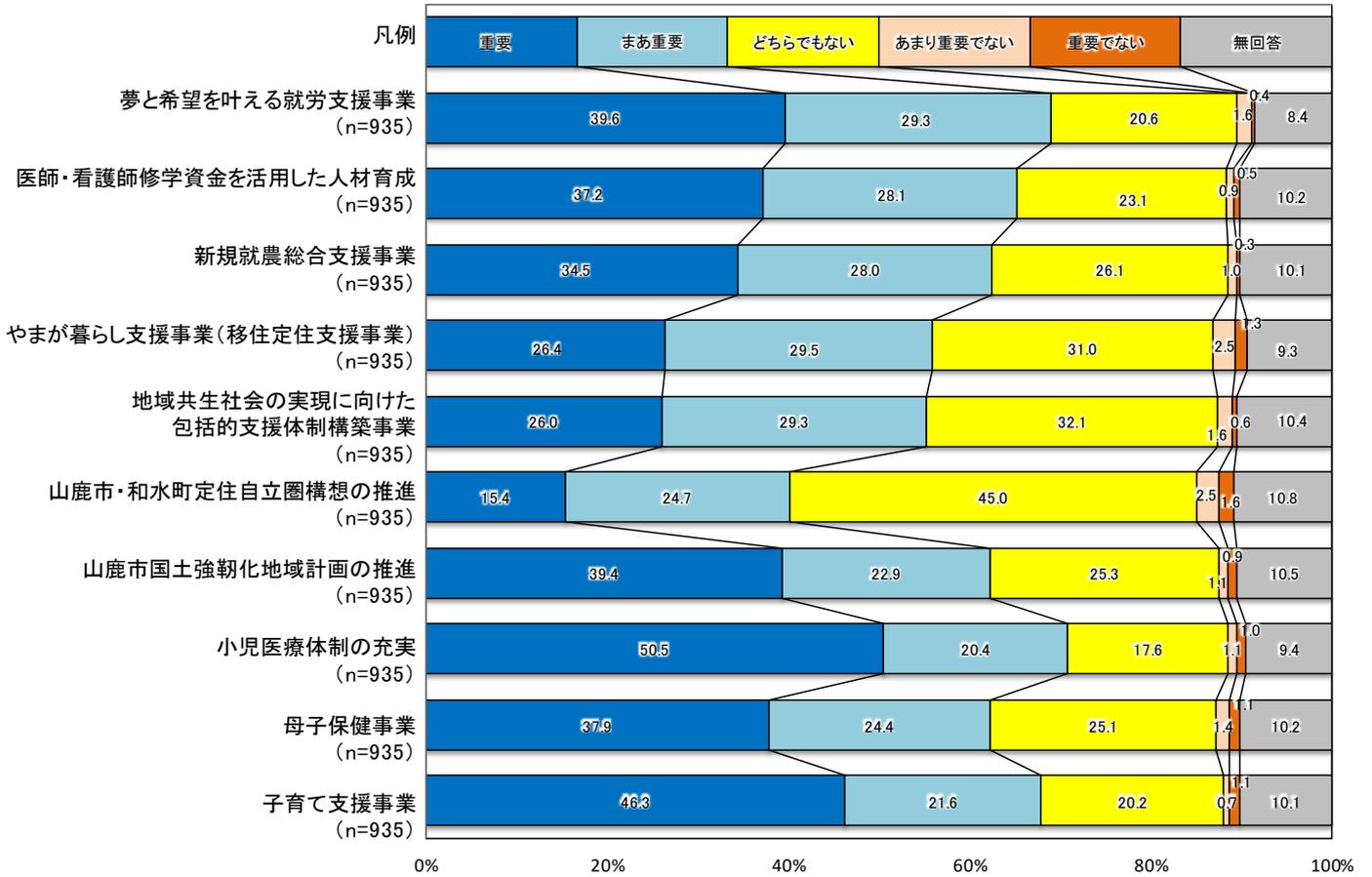
・人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の27.6%となっており、これに「小児医療体制の充実」21.9%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」19.7%が続いている。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「夢と希望を叶える就労支援事業」の25.1%となっており、これに「小児医療体制の充実」24.9%、「やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）」17.1%が続いている。

【満足度】



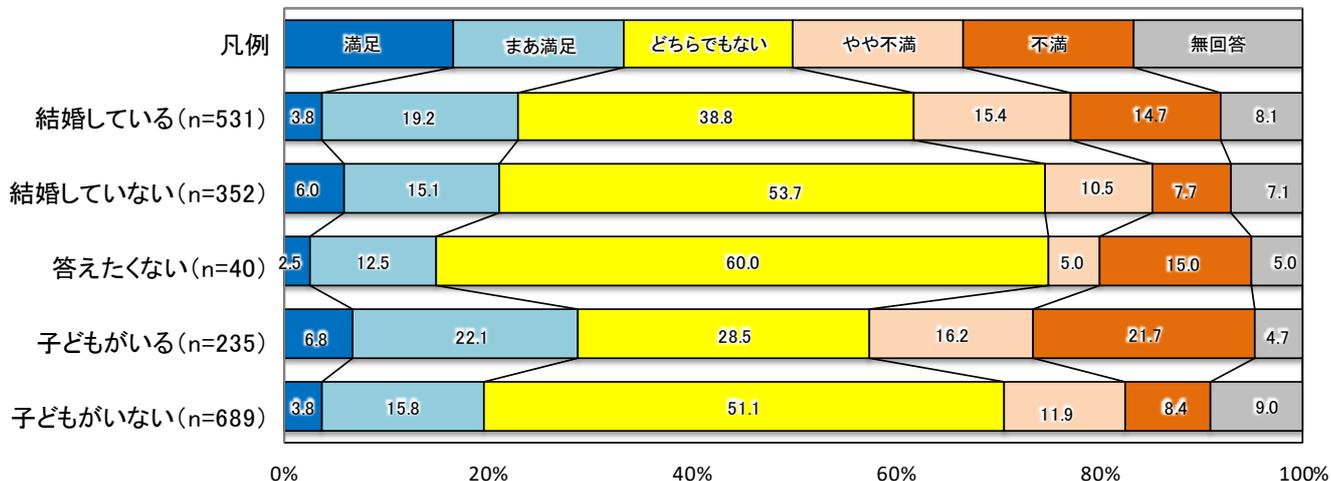
・人口政策の重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「小児医療体制の充実」の70.9%となっており、これに「夢と希望を叶える就労支援事業」68.9%、「子育て支援事業」67.9%が続いている。

【重要度】



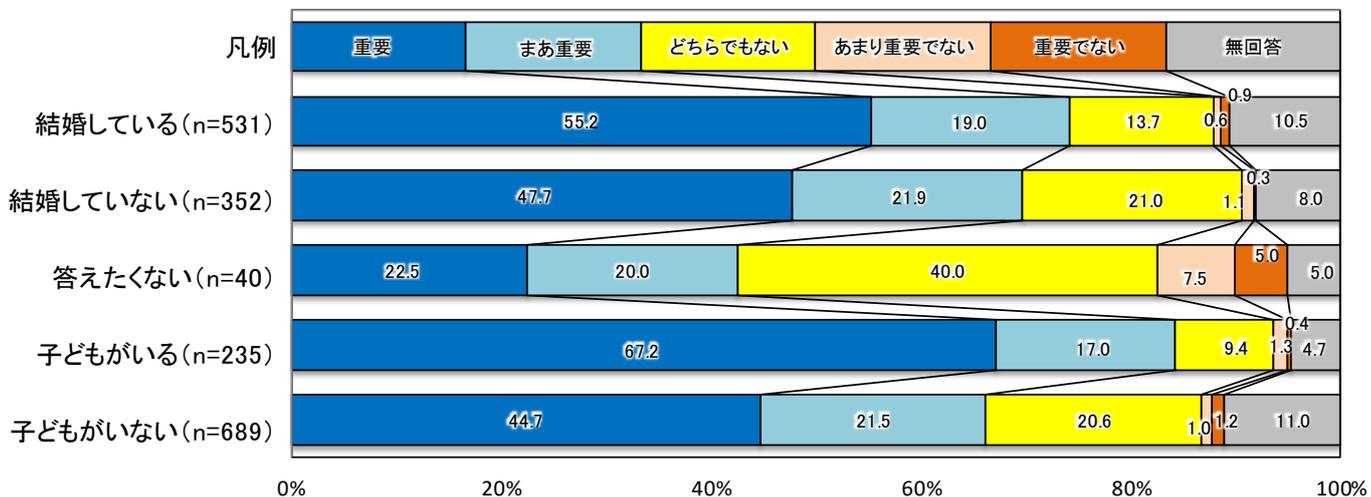
・小児医療体制の充実の満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が28.9%、「やや不満」「不満」の合計が37.9%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



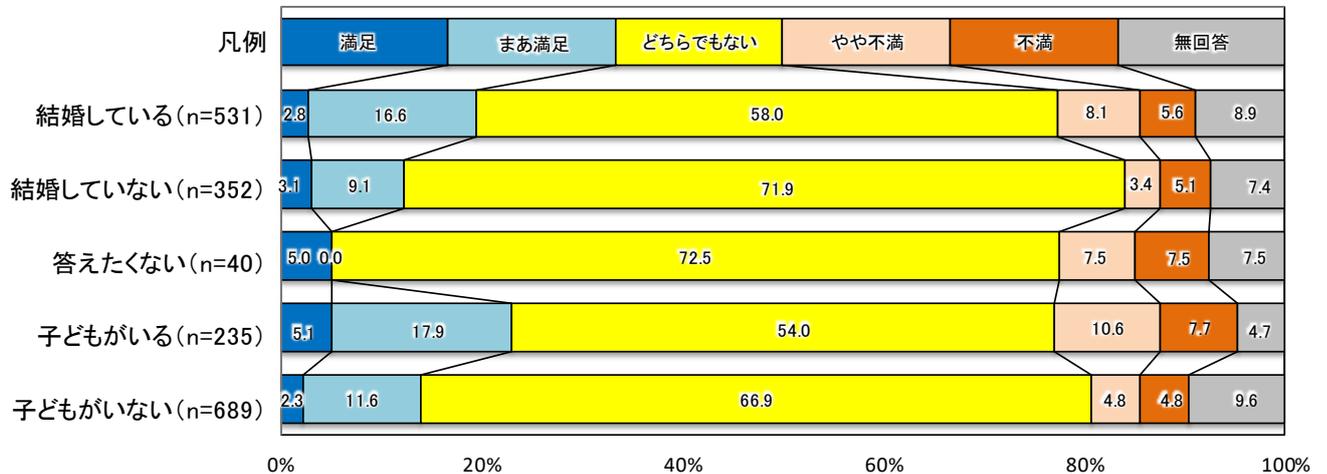
・小児医療体制の充実の重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では84.2%と高くなっている。

【小児医療体制の充実×重要度】



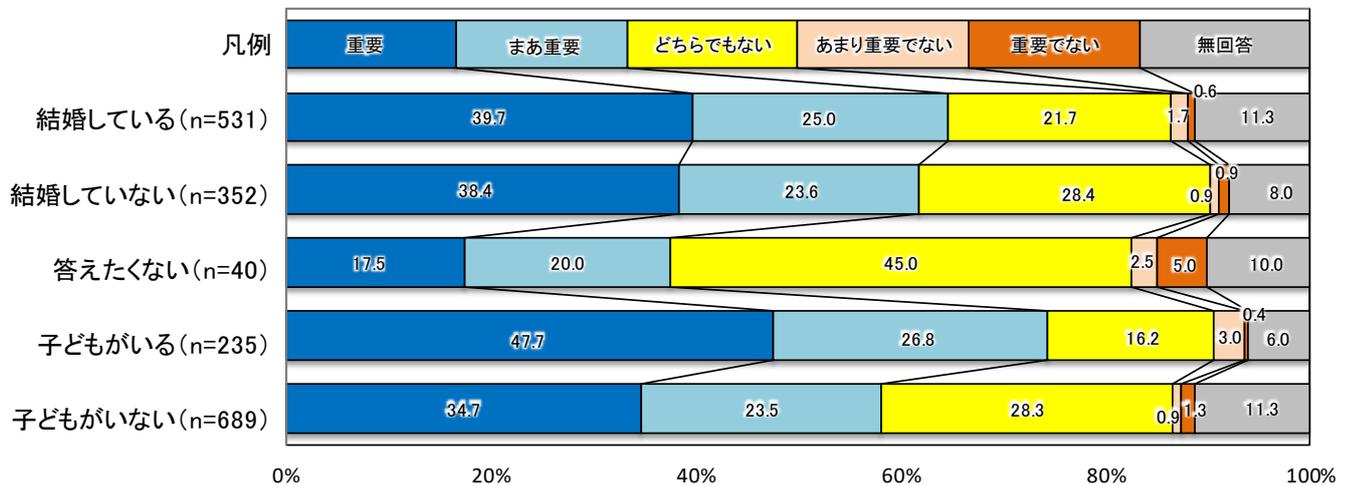
・母子保健事業の満足度について、全ての回答者で「どちらでもない」が最も高くなっている。「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」と「不満」「やや不満」の割合がそれぞれ2割前後となっている。

【母子保健事業×満足度】



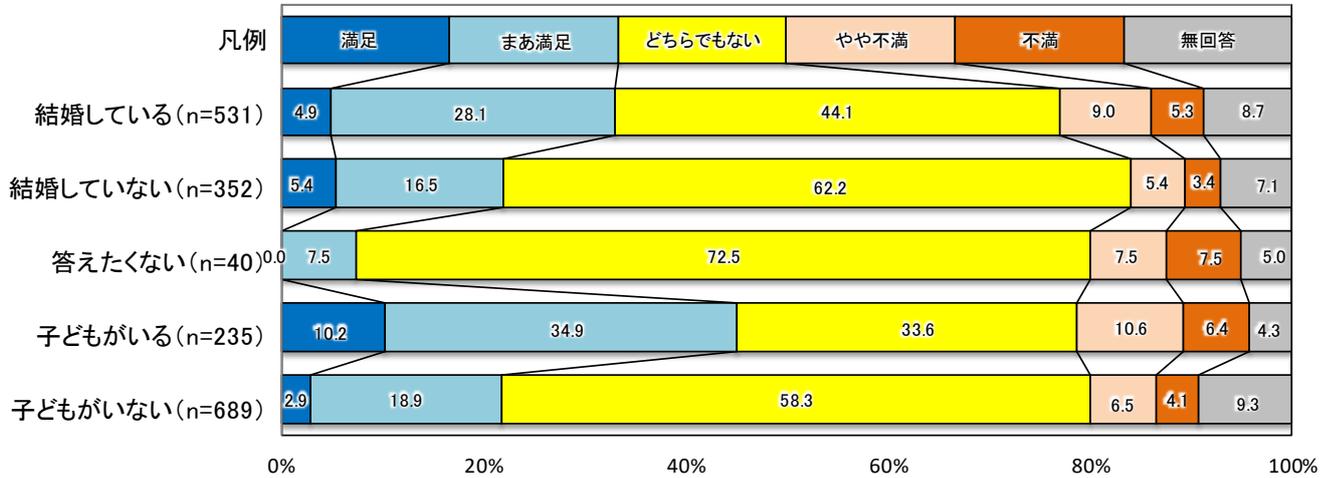
・母子保健事業の重要度について、「答えたくない」を除く全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では74.5%と高くなっている。

【母子保健事業×重要度】



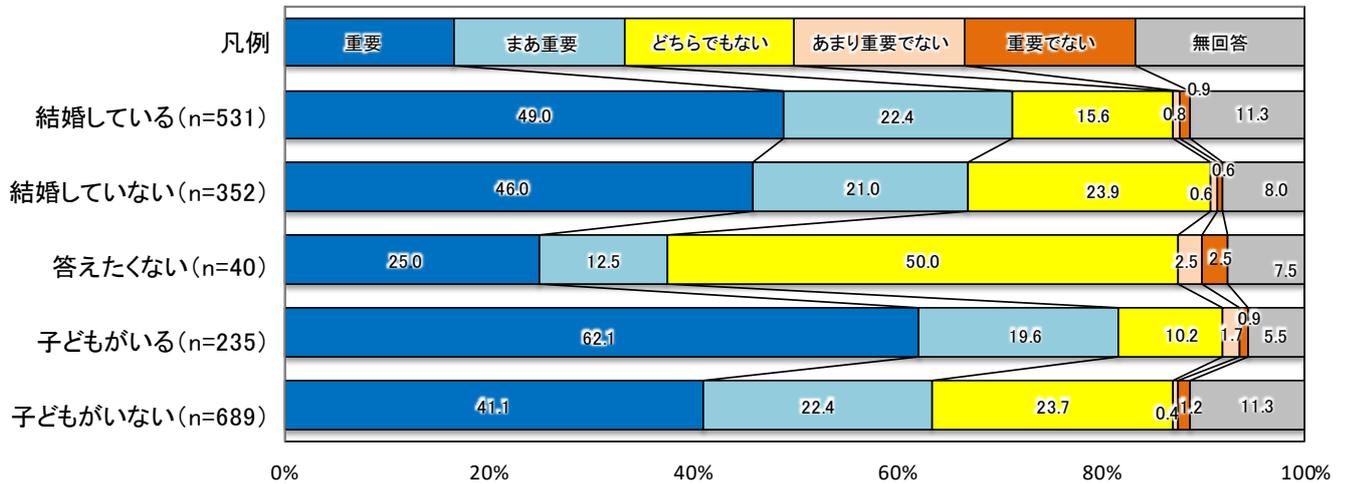
・子育て支援事業の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」の45.1%となっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が58.3%と高くなっている。

【子育て支援事業×満足度】

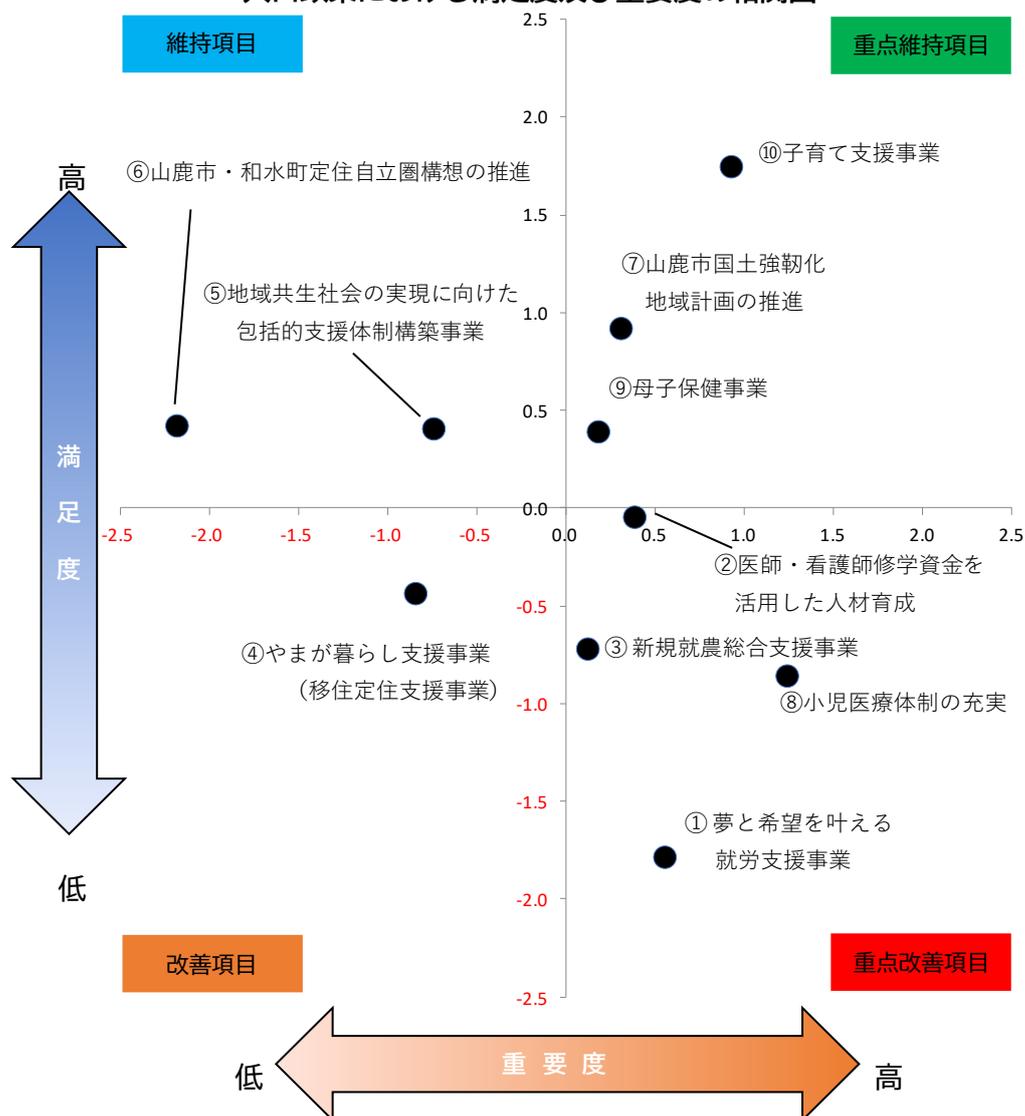


・子育て支援事業の重要度について、「答えたくない」を除く全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっており、特に「子どもがいる」では81.7%と高くなっている。

【子育て支援事業×重要度】



人口政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
⑥ 山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	-2.178	0.416	維持項目
④ やまが暮らし支援事業(移住定住支援事業)	-0.834	-0.439	改善項目
⑤ 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	-0.733	0.404	維持項目
③ 新規就農総合支援事業	0.123	-0.727	重点改善項目
⑨ 母子保健事業	0.183	0.385	重点維持項目
⑦ 山鹿市国土強靱化地域計画の推進	0.316	0.916	重点維持項目
② 医師・看護師修学資金を活用した人材育成	0.390	-0.050	重点改善項目
① 夢と希望を叶える就労支援事業	0.561	-1.786	重点改善項目
⑩ 子育て支援事業	0.928	1.739	重点維持項目
⑧ 小児医療体制の充実	1.244	-0.859	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

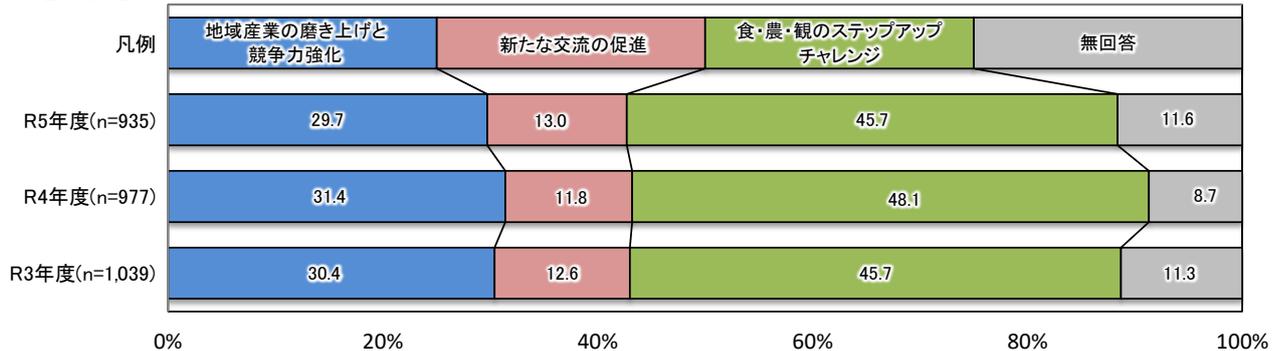
【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

V. 経済政策について

問12 山鹿市総合戦略における、経済政策でもっとも充実して欲しい取組について

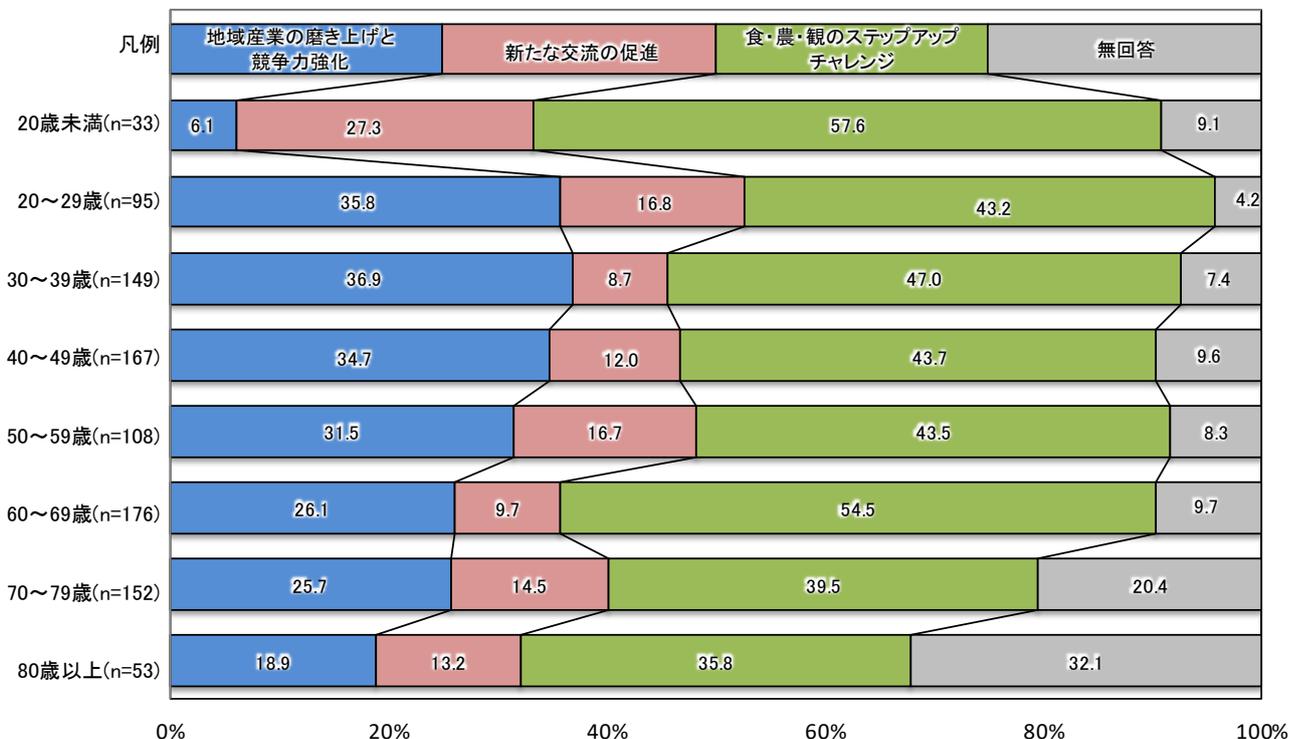
・経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が45.7%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」29.7%、「新たな交流の促進」13.0%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。

【全体】



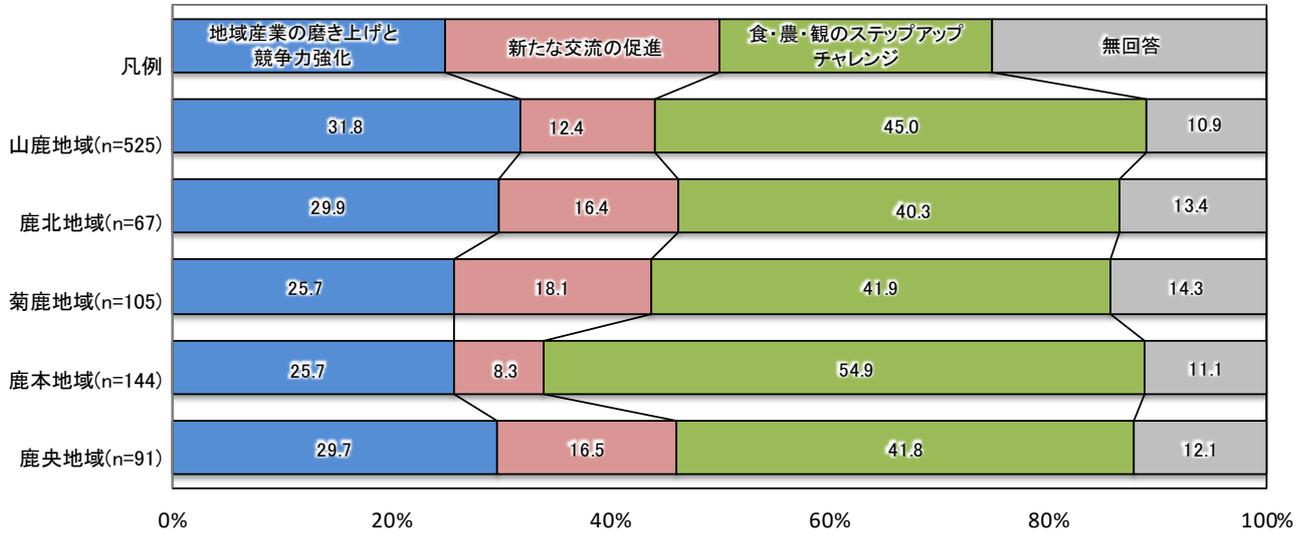
・経済政策で充実して欲しい取組について、年代別では、20歳未満で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が57.6%と他の年代よりも高くなっている。また「新たな交流の促進」の割合でも他の年代よりも高くなっている。

【年代別】



・地域別では、全ての地域で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が最も高くなっている。山鹿地域では「地域産業の磨き上げと競争力の強化」の割合が他の地域より高くなっている。

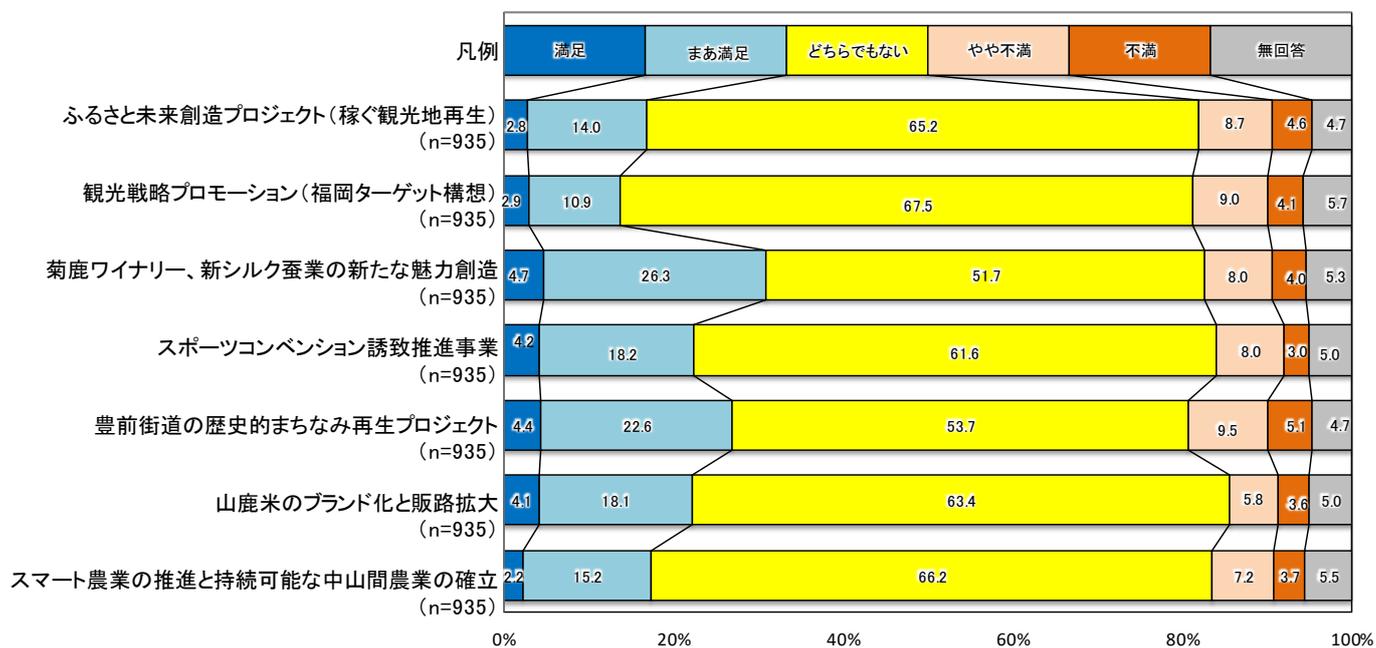
【地域別】



問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について

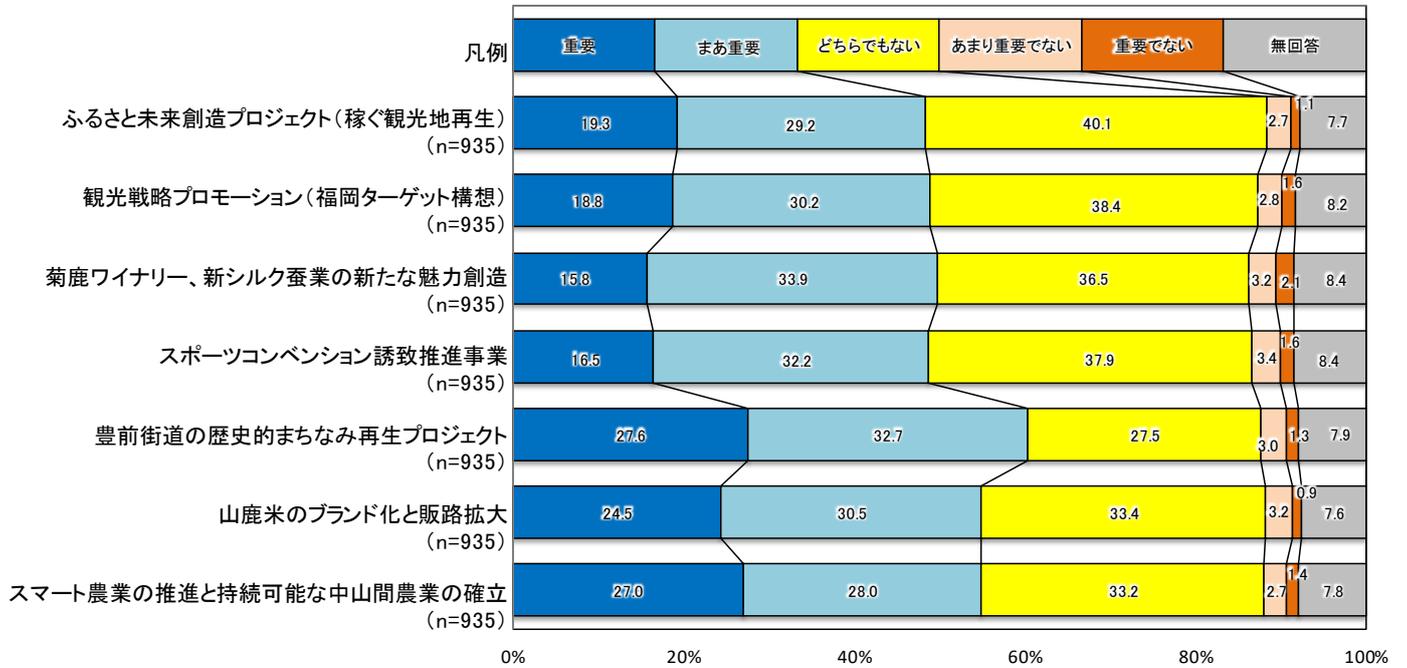
・ 経済政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」の31.0%となっており、これに「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」27.0%、「スポーツコンベンション誘致推進事業」22.4%が続いている。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」の14.6%となっており、これに「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」13.3%、「観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）」13.1%が続いている。

【満足度】

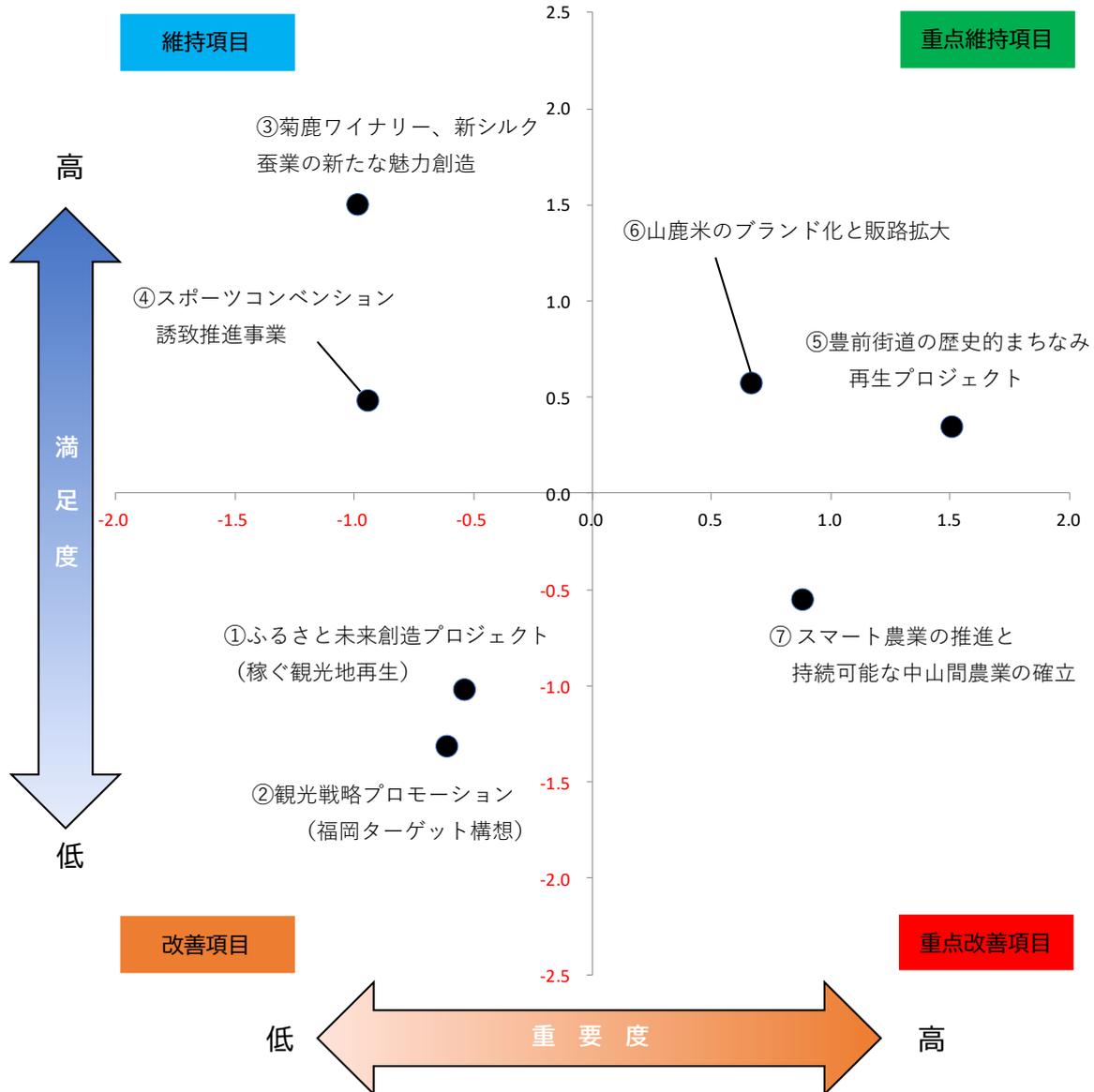


・ 経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が 5 割前後と高くなっている。その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」は 60.3%で最も高く、次いで「山鹿米のブランド化と販路拡大」、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」55.0%となっている。

【重要度】



経済政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
③ 菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	-0.983	1.499	維持項目
④ スポーツコンベンション誘致推進事業	-0.938	0.481	維持項目
② 観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	-0.606	-1.316	改善項目
① ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	-0.533	-1.020	改善項目
⑥ 山鹿米のブランド化と販路拡大	0.668	0.570	重点維持項目
⑦ スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	0.886	-0.555	重点改善項目
⑤ 豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	1.507	0.342	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

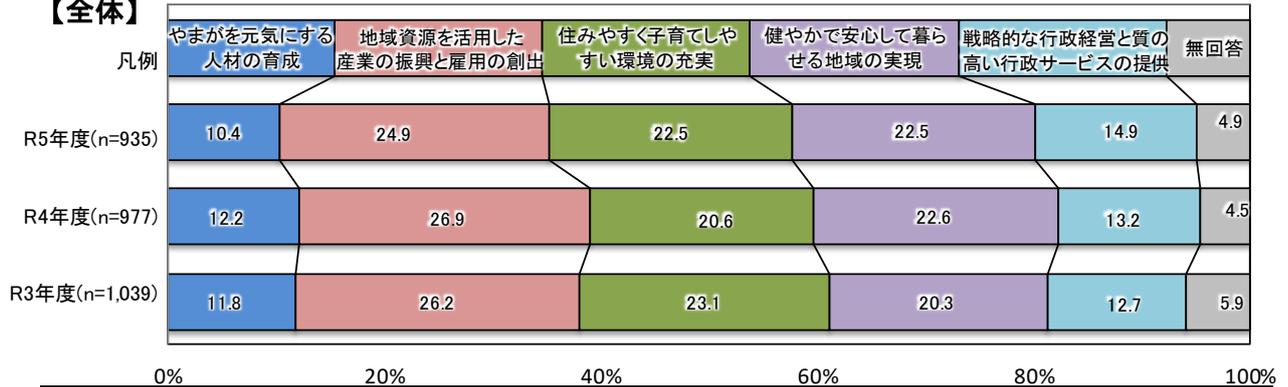
【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

VI. 山鹿市総合計画について

問14 「人輝き飛躍する都市まちやまが」実現のために、もっとも重要と思われるものについて

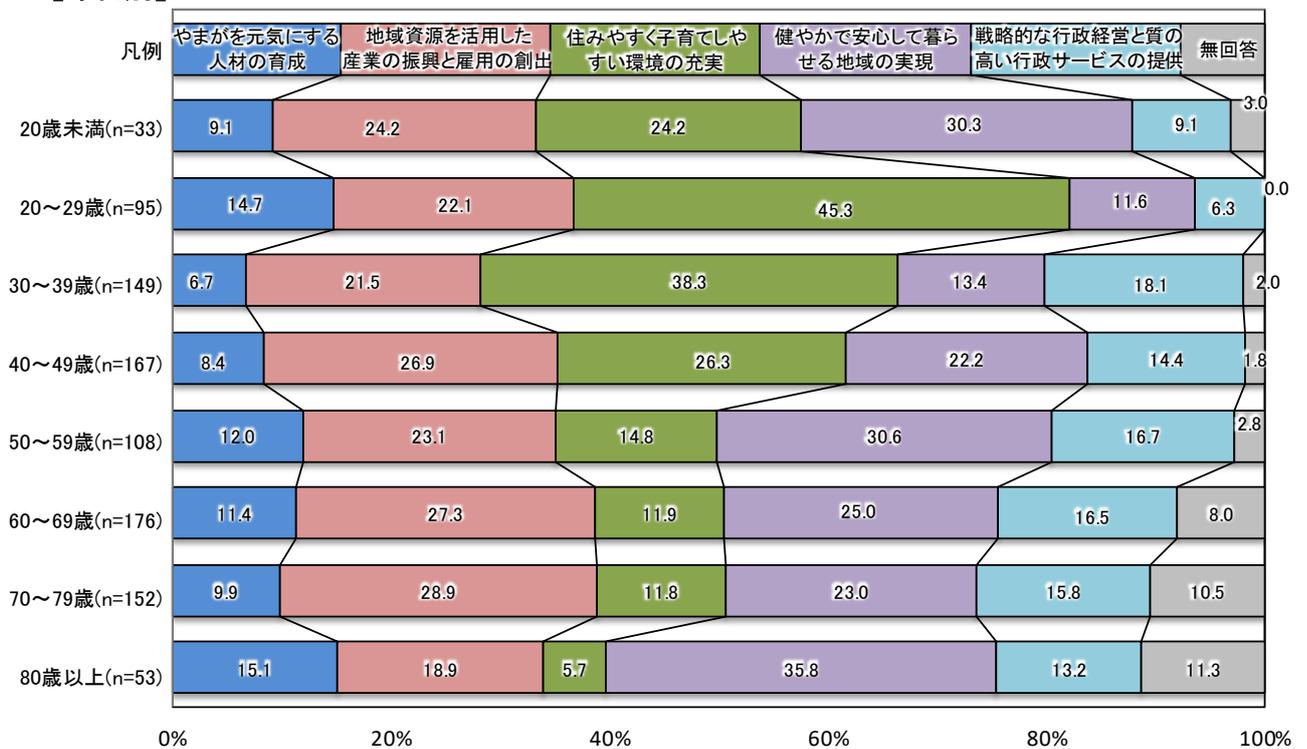
・ 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が24.9%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。

【全体】



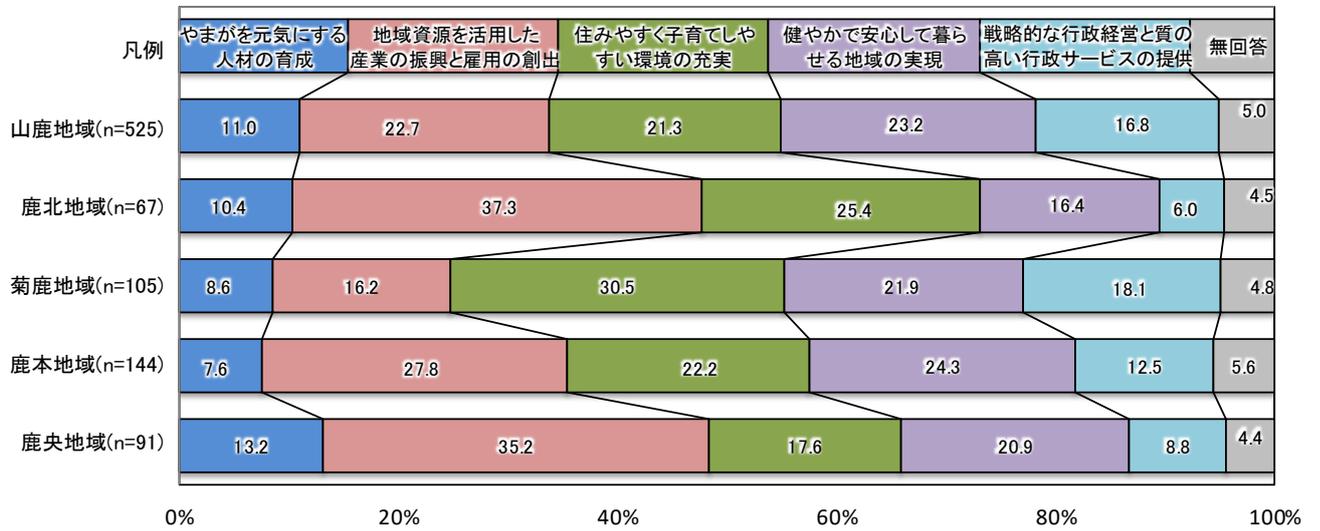
・ 将来都市像実現のために重要と思うものについて、年代別では、20歳未満、50代、80歳以上では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」、20代、30代では「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、40代、60代、70代では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が最も高くなっている。

【年代別】



・地域別では、鹿北地域、鹿本地域、鹿央地域で「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が最も高く、山鹿地域では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」、菊鹿地域では「住みやすく子育てしやすい環境の充実」の割合が最も高くなっている。

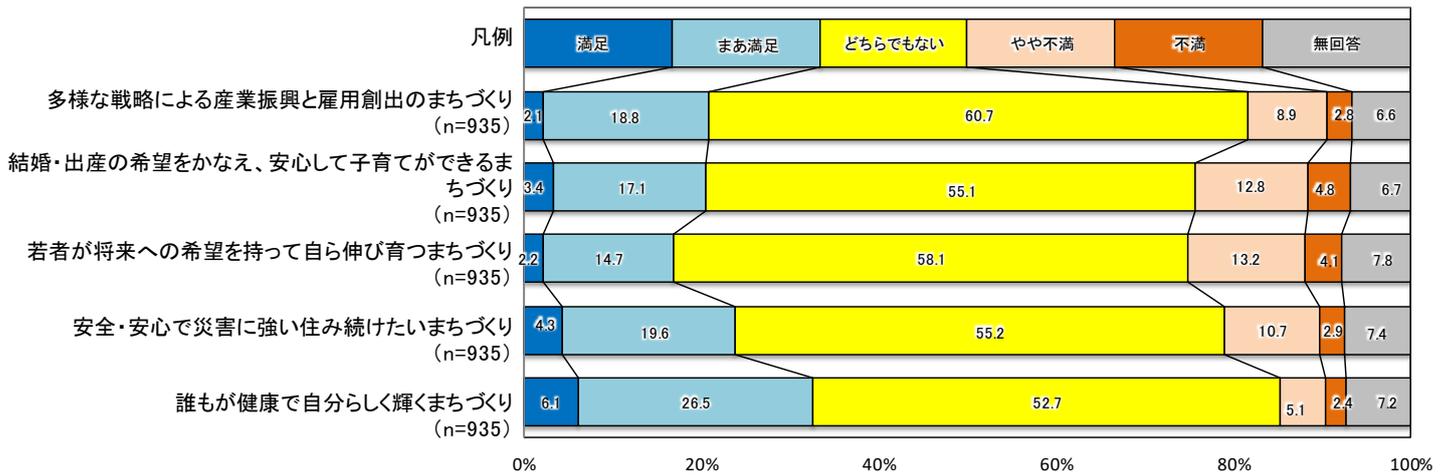
【地域別】



問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度と重要度について

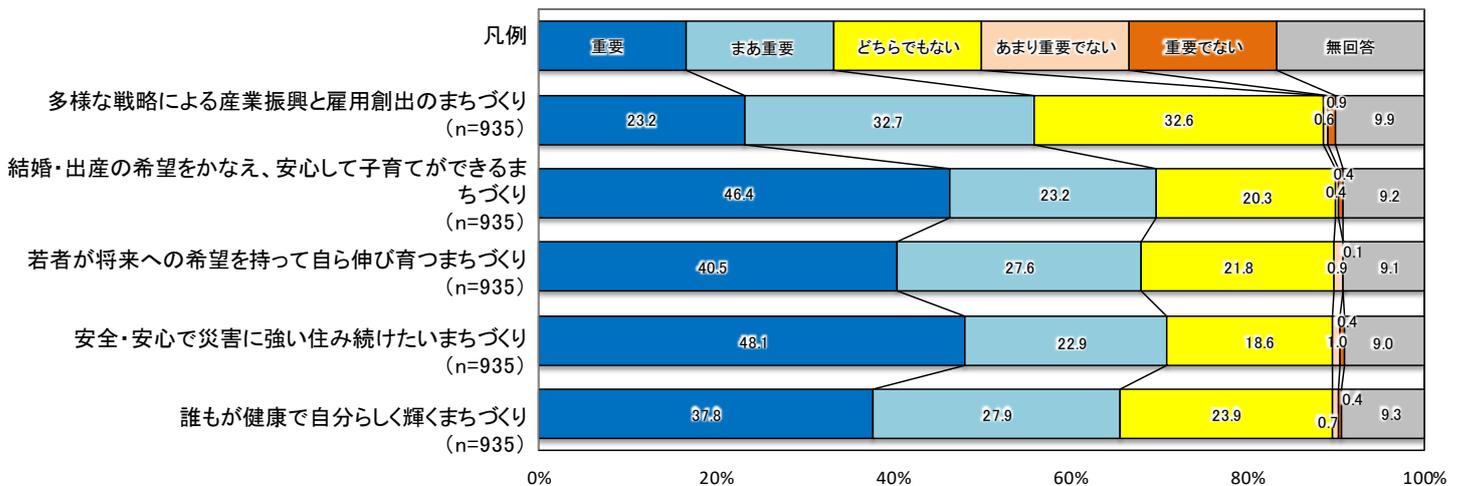
・ 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」の32.6%となっており、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の17.6%となっている。

【満足度】



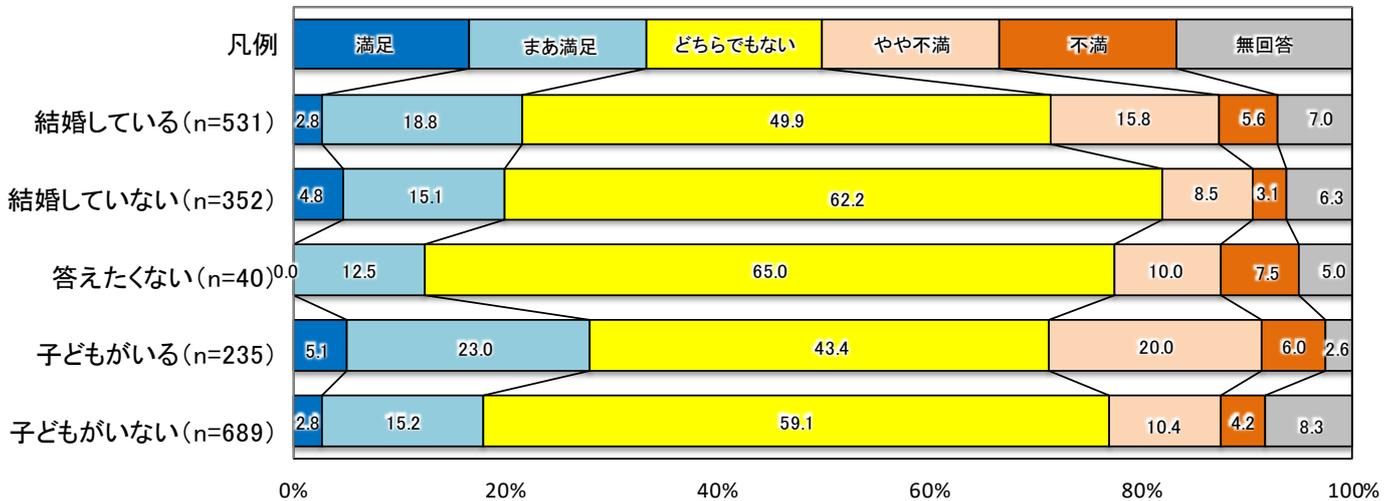
・ 重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」71.0%となっており、全ての項目で「あまり重要でない」「重要でない」の合計は1割前後となっている。

【重要度】



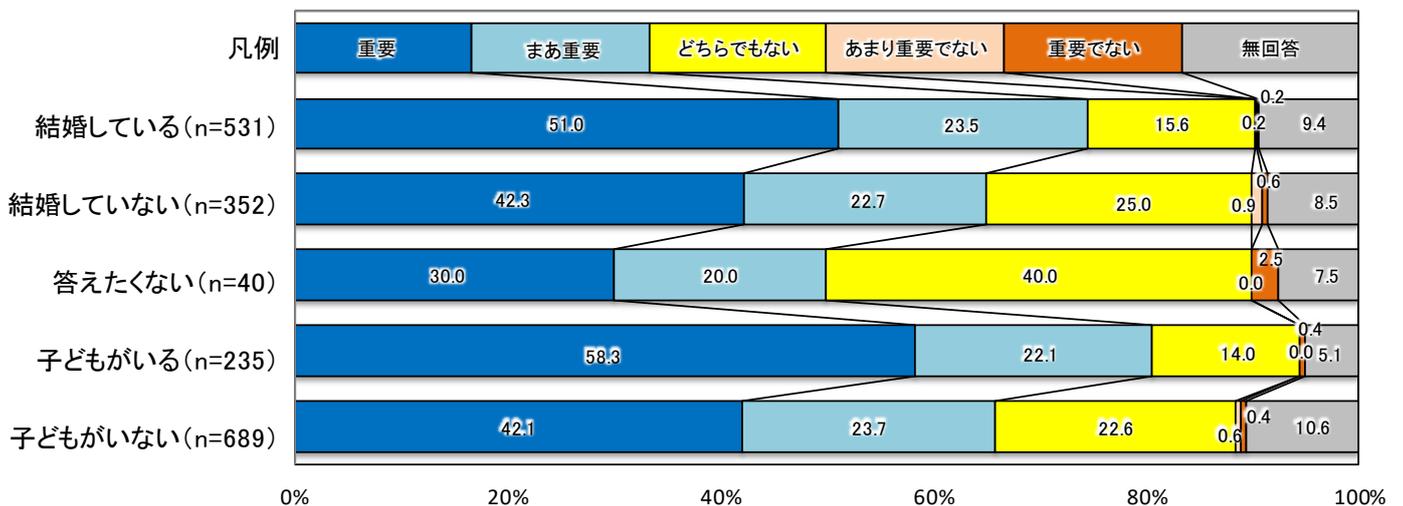
・結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が28.1%、「やや不満」「不満」の合計が20.6%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】

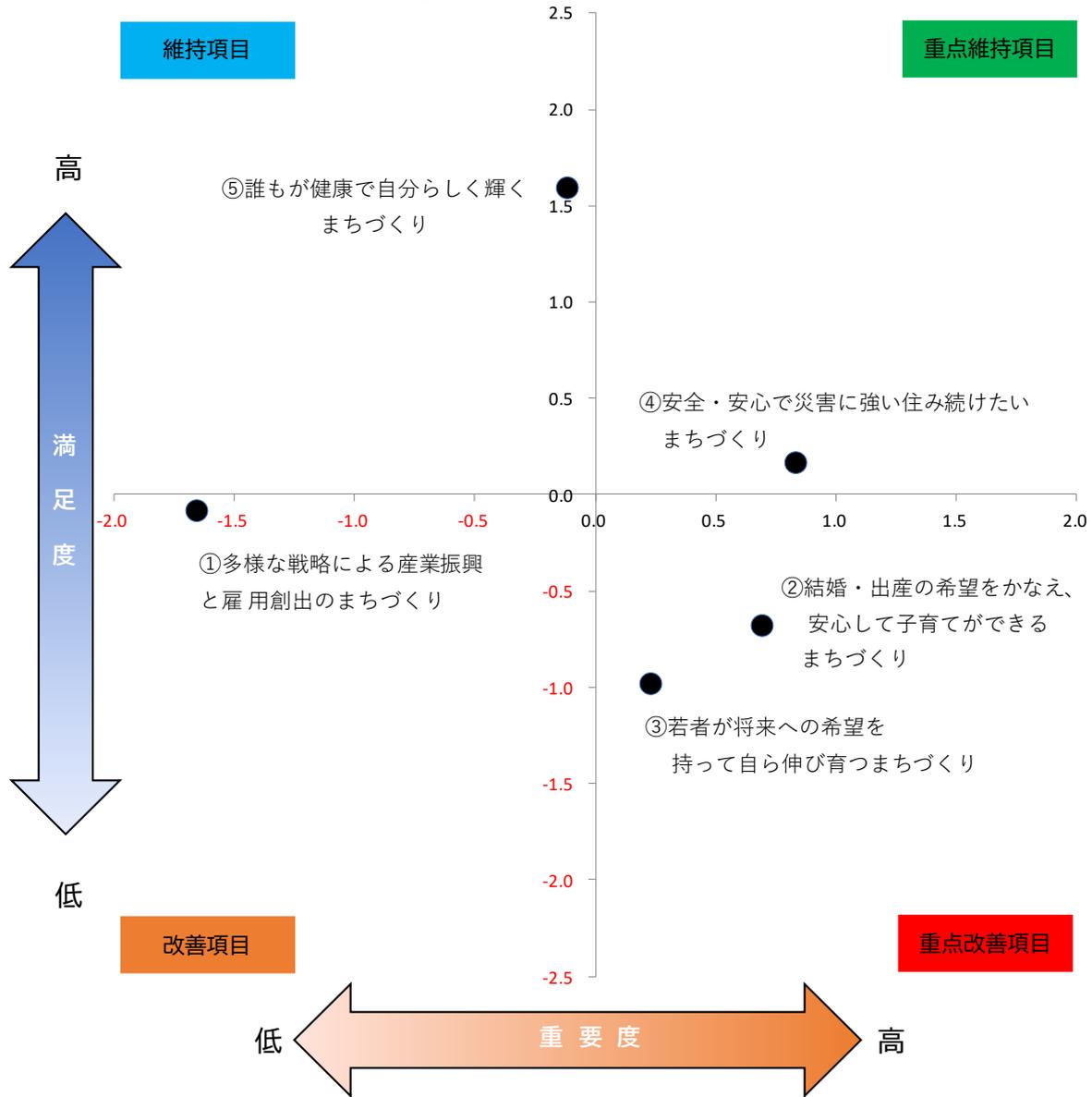


・結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では80.4%で高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】



山鹿市総合計画(先導施策)における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
① 多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	-1.657	-0.090	改善項目
⑤ 誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	-0.113	1.591	維持項目
③ 若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	0.235	-0.984	重点改善項目
② 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	0.695	-0.681	重点改善項目
④ 安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	0.839	0.165	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

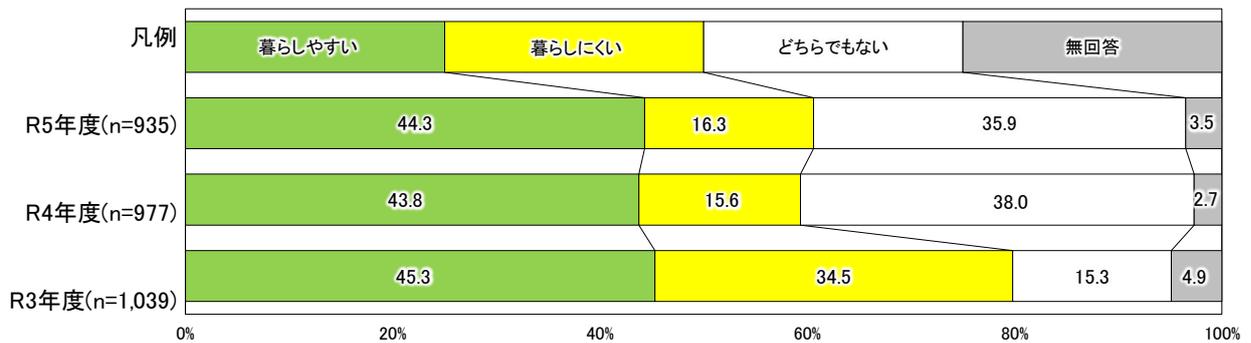
【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

VII. 山鹿市に対する考えについて

問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか

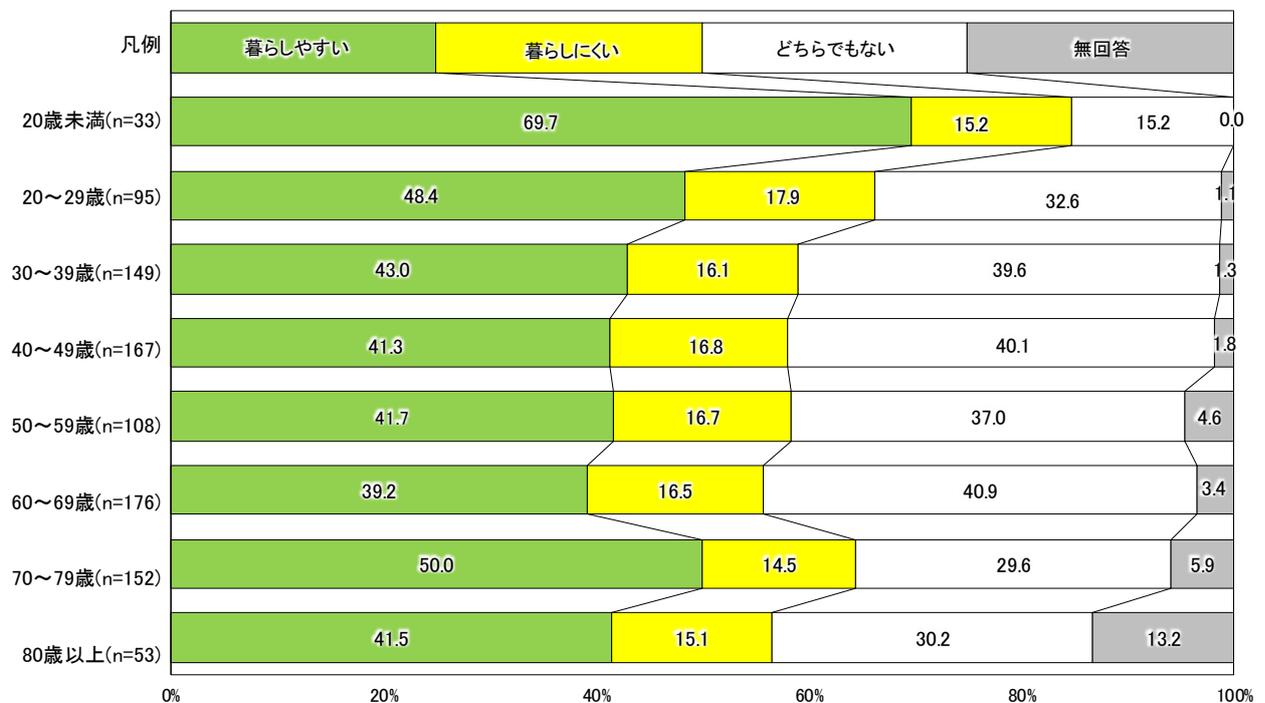
・ 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が44.3%、「暮らしにくい」が16.3%、「どちらでもない」が35.9%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。

【全体】



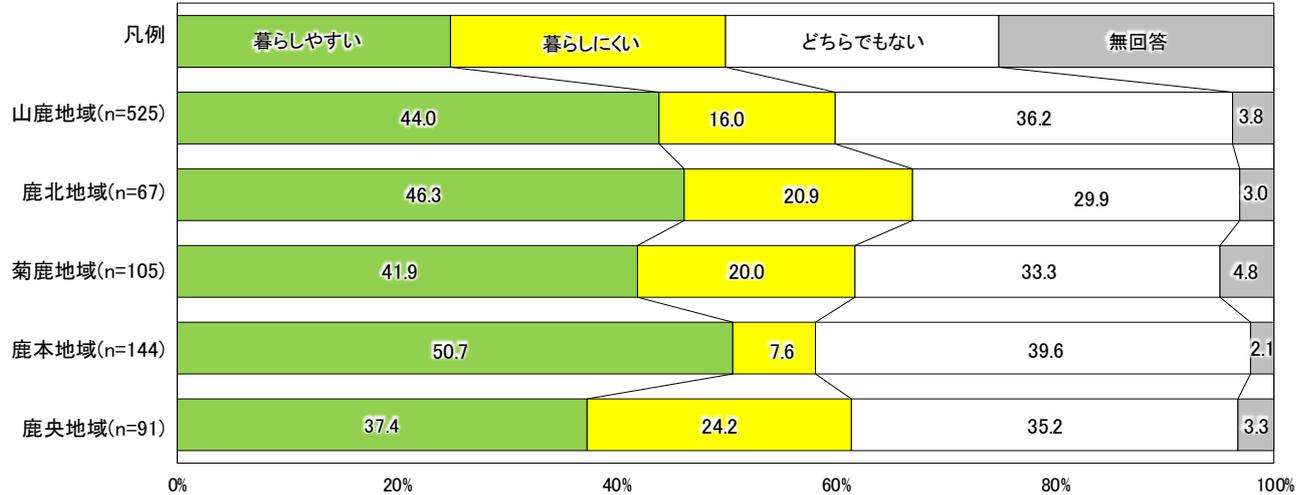
・ 山鹿市の暮らしやすさについて、年代別では、20歳未満で「暮らしやすい」の割合が69.7%と他の年代よりも高くなっている。「暮らしにくい」の割合は20代が最も高く、17.9%となっている。

【年代別】



- ・地域別では、鹿本地域において「暮らしやすい」の割合が50.7%と最も高くなっている。一方、「暮らしにくい」の割合は鹿央地域の24.2%が最も高く、これに鹿北地域の20.9%が続いている。

【地域別】



問17 山鹿市が暮らしにくい理由の自由記述（問16で「暮らしにくい」と回答された方）

- ・R4年度調査と同様に、公共交通機関の少なさなど「交通アクセスの不足」による買い物や通院の不便を訴える意見が多くみられた。またあいのりタクシーの不便さの意見もあった。
- ・「医療機関をもっと充実してほしい(特に小児科)」「車がないと生活が成り立たない地域がかなり多い」「買い物や通院などが大変」「働く場所が少ない、給与が少ない」「交通アクセスがバスだけ、そのバスも運行本数が減った。大きな病院は熊本市内しか無い事」「水道代、税金が高すぎる」などの意見もみられた。

医療・福祉	年代・性別
魅力ある高齢者施設・医療機関が少ない。	60代女性
医療体制を充実してほしい。特に小児科の夜間受診とか救急の対応が出来る先生や診療所があった方が良い。	30代女性(2名)、 40代女性
休日、夜間に診察してもらえる病院がなく、市外まで行かないといけない。	40代男性
福祉施設、活動の選択肢が少ない。	60代女性

行政の取組みについて	年代・性別
税金が高い。	50代男性、70代男性、 50代女性、60代女性、 70代女性
キャッシュレス化が全然進んでいない。市のごみ袋、飲食店でカードで決済したいのに、それができない。	20代男性
人口減少における税アップや公共料金アップ(水道代24%アップ)	60代女性
観光の衰退、魅力ある街づくりが実現されていない。住んでいても山鹿の地が素晴らしい、住んでよかったと思うことはあまりなく、経済的にゆとりがあるのであれば、熊本市近郊に行きたいと思うことが多々ある。	50代女性
ゴミ出しルールが厳しすぎる。プラスチックごみの分類など細かすぎる。	40代男性
上水道の整備。井戸水では不安。 整備できている地域とできていない地域があり不公平。安全な水の提供を望む。	60代女性

生活環境	年代・性別
車がないと買い物や通院などが大変。老後の移手段など不安。	20代男性、 40代男性(2名)、 20代女性、30代女性、 40代女性、60代女性 (2名)、70代女性(2 名)、80歳以上女性
暮らしやすいけど子供が遊べる公園、雨の日室内で遊べる所を作ってほしい。遊ぶ所がないので市外に行く。	30代女性、 30代性別回答無し
商業施設など店に偏りがある。年取ってるから不便。	80歳以上女性、 30代性別回答無し
習い事など通える場所が少なく、文化的な活動もあまりないように思う。	50代女性
大型ショッピングモール、映画館等の娯楽が少ない。	60代女性
パチンコ店が多すぎる。	30代女性、60代女性
大型企業を誘致できてない。	60代女性

交通アクセス	年代・性別
交通の便が悪い。	30代男性(3名)、40 代男性、 50代男性(2名)、

	20歳未満女性、 20代女性、30代女性、 40代女性(2名)、60 代女性、70代女性(4 名)、 40代性別回答無し
電車がない。	20代女性、60代女性
あいのりタクシー、ジャンボタクシーが不便。	40代女性、 60代女性(2名)、 70代女性(2名)
サイクリングロードの道路状況の悪化。シェアサイクルが少ない。	30代男性
鹿央地域の基幹道路の整備を進めて欲しい。	80歳以上女性

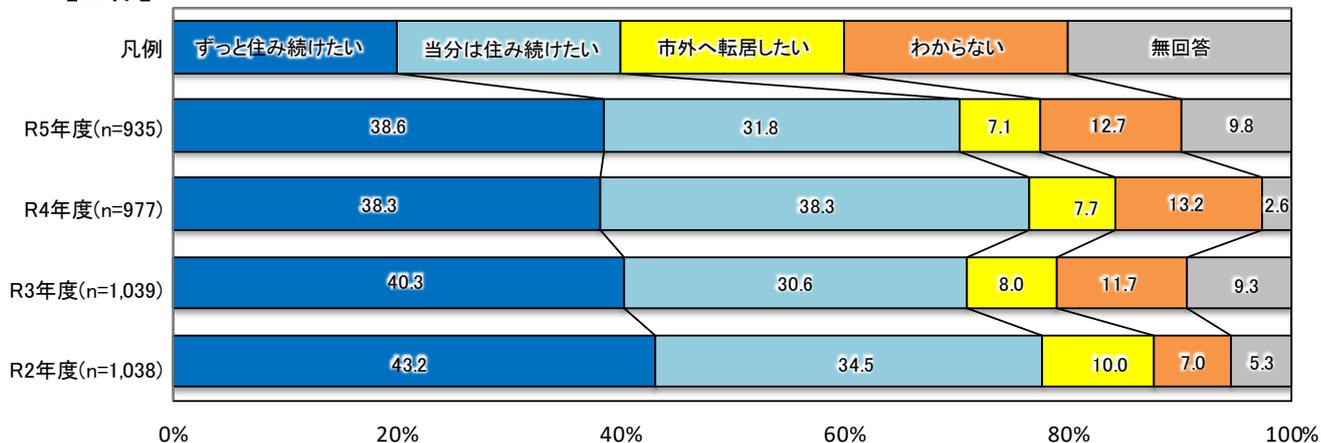
雇用環境	年代・性別
働く場所が少ない。	20歳未満男性、 60代女性
給与が少ない。	20歳未満男性、 60代女性

その他	年代・性別
子育てはしやすいが、肝心の子供たちが大人になって山鹿から出ていく人が多い。	30代男性、 60代男性

問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか

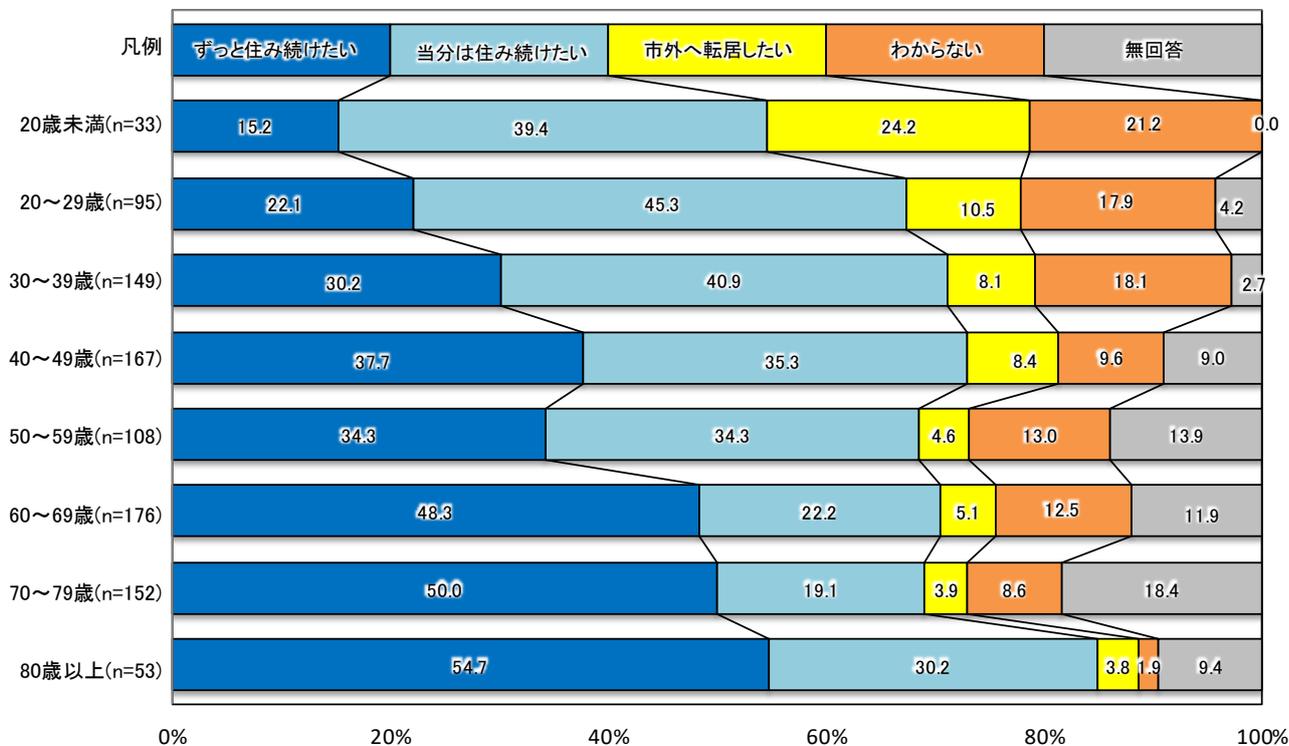
・山鹿市での居留意向については、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が70.4%で7割の方が住み続けたいと回答している。R4年度と比較すると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の割合が減少し、「市外へ転居したい」もわずかに減少している。

【全体】



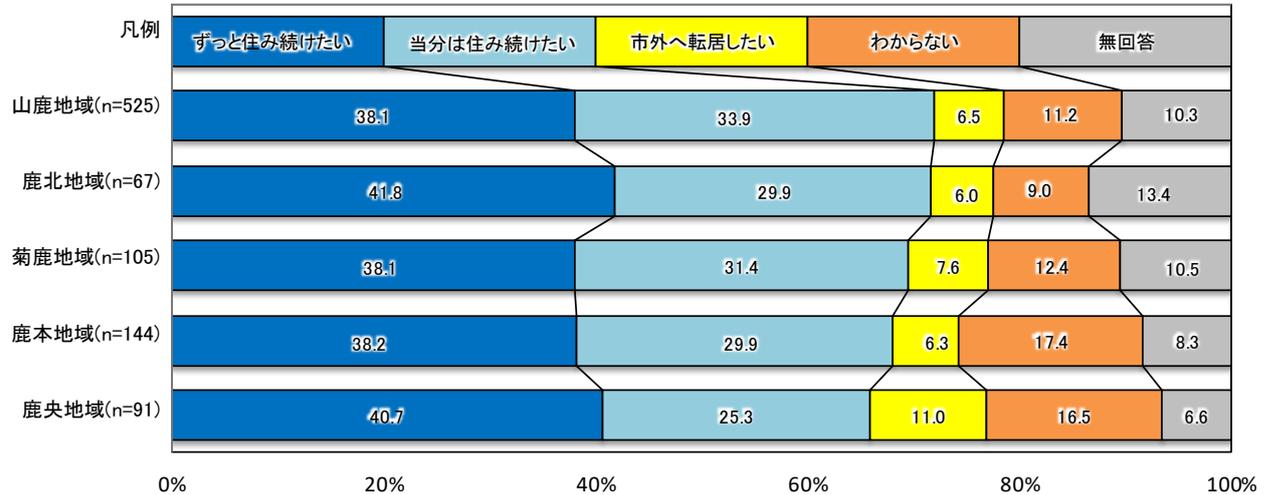
・今後の山鹿市での居留意向について、年代別では、80歳以上の年代が「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が84.9%と最も高くなっている。「市外へ転居したい」の割合は年代が下がるほどが高くなっている。

【年代別】



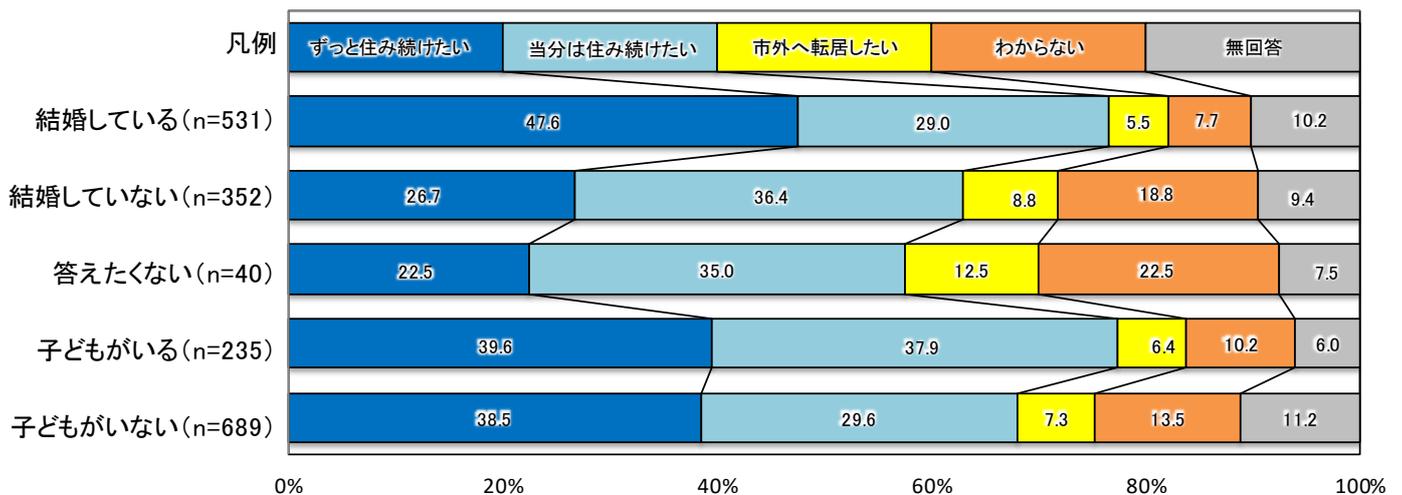
- ・全ての地域において「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計が7割前後を占めている。
- ・地域別では、「ずっと住みたい」は鹿北地域の41.8%が最も高く、「市外へ転居したい」では鹿央地域の11.0%が最も高くなっている。

【地域別】



- ・子どもの有無別では「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計が子どものいる方の割合の方が高い。結婚の有無別では、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計が結婚している方の割合が高く、7割を超えている。

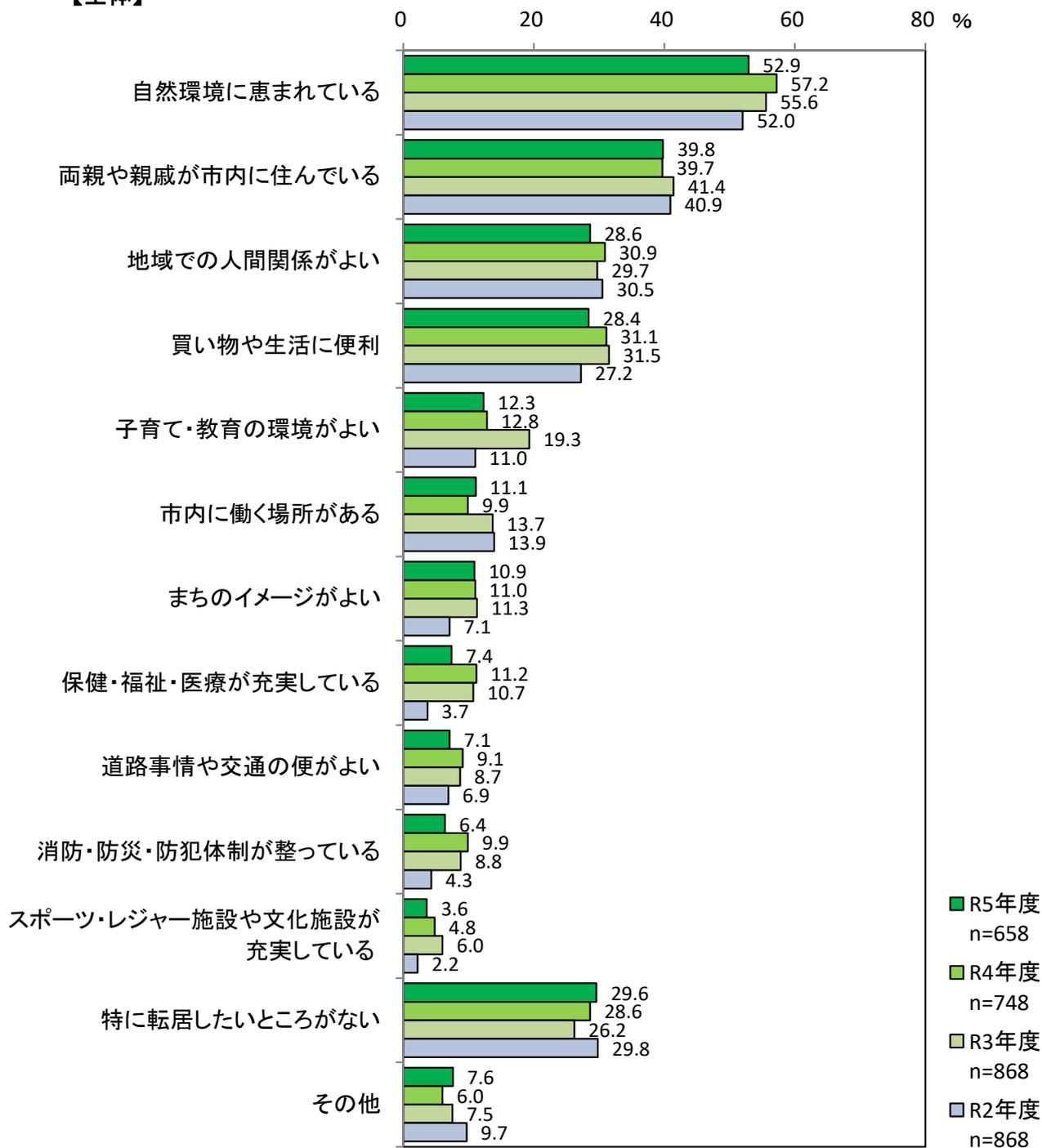
【結婚の有無・子どもの有無別】



問18 住み続けたい理由（複数回答）

- ・「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した方の理由として、「自然環境に恵まれている」の割合が52.9%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.8%、「地域での人間関係がよい」28.6%となっている。
- ・R4年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が減少している。
- ・その他の意見として、「温泉がある」「災害が少ないため」「生まれ育った地だから」「持ち家があるから」「ほどよい田舎だから」という意見があった。

【全体】



問18 市外へ転居したい理由（自由記述）

- ・「交通・買い物・医療等の不便」を訴える意見が多くみられた。
- ・「活気・楽しみの不足」「進学や雇用環境」「医療・福祉」「行政の対応」を転居理由とする意見もみられた。

医療・福祉	年代・性別
福祉の支援が薄い、コミュニケーションの場がない。	20代男性
医療、子育て支援が充実してない。	30代女性

活気・楽しみの不足	年代・性別
魅力的な要素があまり無いから。	30代男性
大型商業施設やカフェ、外食チェーン店がない。	70代女性
若い人がいない。	60代女性
映画館などレジャー施設や文化施設(図書館)が少ない。	20代男性、30代男性、 50代女性、70代女性(2名)

交通・買い物・医療等の不便	年代・性別
交通の便が悪い。	20代男性(2名)、 50代男性(2名)、 20代女性、30代女性、 40代女性、50代女性(3名)、 60代女性(2名)、 80歳以上女性、 40代性別回答無し
外灯が少ない。	20代女性
歩道狭い。	20代女性
バリアフリーが少ない。	20代女性
老後の免許返納後に生活が出来ない。	50代男性
買い物、病院が遠く不便。	50代男性、60代男性、 50代女性(2名)、60代女性(2名)、 70代女性、 80歳以上女性

旧山鹿市に駐車場が少ない。	60代女性
---------------	-------

進学や雇用環境	年代・性別
就職先が少ない。	20代男性、 30代男性(2名)、 20歳未満女性、 70代女性
時給が低い。	20代男性、20代女性

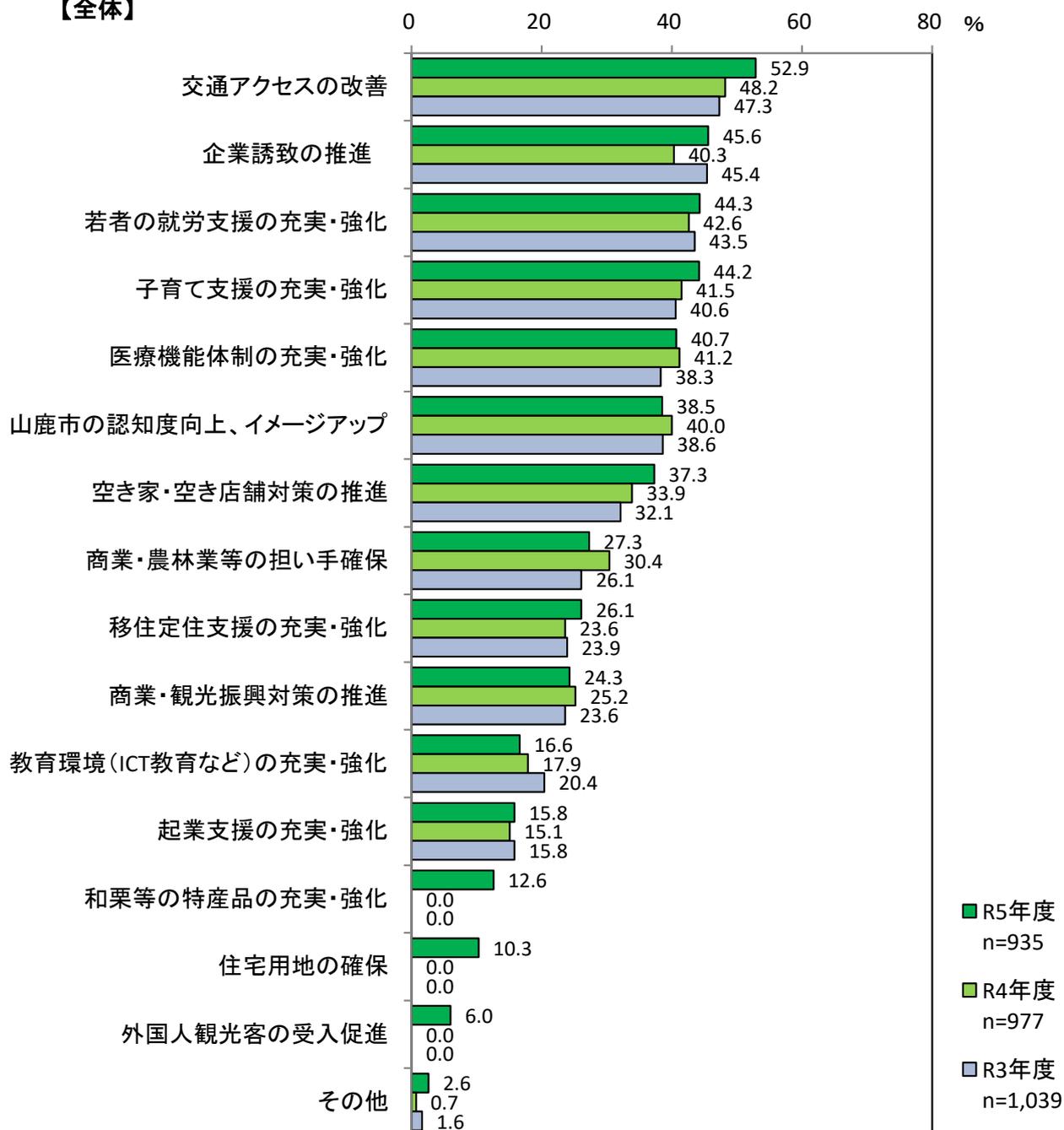
行政の対応	年代・性別
山鹿市役所の各種取組みは不十分であり、何をしているのか全く見えない。	40代男性、70代女性
他市町より・税金が高い。基幹産業がない。	70代女性

その他	年代・性別
家賃、物価が高い。	20代女性
これからの生活や人生を考えたら山鹿に住み続けたいと思えない。	50代男性
他の市のほうが魅力的。	20歳未満女性
住み続けたいが、市営団地など空きが多くあるのに、60才までは単身で申し込めないことで転居せざるえない。	40代女性

問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組
(複数回答)

- ・市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が52.9%と最も高く、次いで「企業誘致の推進」45.6%、「若者の就労支援の充実・強化」44.3%、「子育て支援の充実・強化」44.2%となっている。
- ・その他の意見として、「高齢者介護家族への支援」「公共交通機関の充実・整備等」「上下水道の整備、災害対策の強化」「若者向けのお店が少ないので、お店がもっとあればと思う」「特産品、高齢化対策」「安全性のアピール」「TSMC 関連の企業誘致に全力を尽くす」という意見があった。

【全体】



問20 今後、充実すべき取組や新たな取組等（自由記述）

医療・福祉の充実	年代・性別
医療体制の充実。（小児医療、産婦人科、緊急時の受入体制など）	20代男性、30代男性(2名)、70代男性、20代女性、30代女性、40代女性、60代女性(4名)、70代女性、
介護・福祉施設などの充実、金銭面での支援。	40代女性(2名)、60代女性
高齢者へのサービスや就労支援	40代女性、60代女性
子育てと同じように独身・30代・40代・50代へも支援してほしい。	40代女性

子育て支援	年代・性別
商業施設、雨の日でも遊べる場所がほしい。	30代男性、30代女性
転入してきた人にも子ども（2・3歳未満）のおむつ・買い物（子ども用）チケットがあると嬉しい。	20代女性
ランドセル贈呈は継続してほしい。	40代女性
子育て支援の充実・強化。	20歳未満男性、30代男性(3名)、40代男性、20代女性(2名)、30代女性(3名)
山鹿の中学校での起業教育なども取組が有っても。	60代男性
パチンコ屋を少しでも減らすと教育にも良くなり、もっと住みやすくなると思う。	20代男性
教育環境の充実。	30代女性(2名)、60代女性
子供たちが遊ぶ公園、遊具の充実。公園の駐車場完備。	30代男性、60代男性、30代女性、80歳以上女性
区での子供イベントをしてほしい。	80歳以上女性
子育ては他の所と比べ支援出来ていると思う。	60代女性
若い人の居住支援。	30代男性、70代女性
学校の終わりに気軽に参加できるようなスポーツ活動の取組みやスポーツ施設がほしい。	30代女性(2名)

空き家対策、遊休地の活用、移住者対策等	年代・性別
移住定住支援。市内看板などの多国語表記や多国籍食材店、公共交通機関への外国人向け支援を積極的に行い、海外労働者も住みよい町へ。	30代男性(2名)、 70代女性
プラザ5の中の空き店舗の活用。	20代女性
空き家・空き店舗の有効利用(古民家宿泊などリフォームして貸す)。	30代男性(2名)、 40代男性、70代男性、 40代女性、60代女性
東京以外からの移住者確保への取組強化。	30代女性
男女出会いの場づくり結婚して子どもを増やす。	70代男性
起業したい人がチャレンジできる「場所」を作してほしい。	40代女性
永住の可能性のある戸建てを建てる人への優遇や、活用されていない土地を市で取扱うことなどできないか。	30代男性

インフラ整備、環境問題	年代・性別
水路への安全柵の設置。	30代男性
上・下水道の整備。	40代男性、 50代女性、70代女性、 80歳以上女性、
通学路の舗道の拡大。	50代女性
道路のセンターラインが消えていたり薄くなったりしている箇所が相当ある。	70代男性
Youtuberなどのバーチャルな取組で山鹿の自然の豊かさや景観の良さ、おいしい食べ物などの紹介を配信する。	30代女性
自然災害時にペットと避難できる場所の確保。	60代女性
信号の少ない街作り。山鹿市内から荒尾、大弁田方面、熊本北区・市内方面、大津・合志方面、八女・久留米方面に30分でアクセスできるような道路整備。	40代男性
凸凹道がありすぎる。	40代男性
道に花を植える。	40代男性、70代女性
歩道、河川敷の整備。	60代女性
「さくら湯」の活用や駐車場の無断利用が多くて困っている。	40代男性、70代女性
夜間が暗い。	女性50代
ゴミの捨て場が遠い。	50代女性
今の豊かな自然、農業、水、温泉、八千代座を大切にしてほしい。	40代女性

里山維持管理のための支援や補助。	40代女性
------------------	-------

企業誘致	年代・性別
半導体関連企業等の誘致による雇用の創出(菊陽町、合志市のように人口を増やす)	60代男性
企業誘致。	20代男性、30代男性(4名)、40代男性(2名)、50代男性、60代男性(3名)、70代男性(3名)、20代女性、40代女性(2名)、50代女性(4名)、60代女性(3名)、70代女性(2名)
商業施設の誘致。(若者の就労にもつながると思う)	50代男性、20代女性、50代女性

観光振興、文化振興	年代・性別
観光スポットを増やす。	30代男性、60代男性
安い宿泊施設が少ない。ビジネスホテル、ゲストハウスなども取組んでほしい。	40代女性
自然を活かしたイベントの開催やその支援。	30代男性
山鹿市内の温泉のアピールと強化。	40代男性(2名)、60代男性、60代女性、70代女性
豊前街道の「人の営み」と「物の流れ」が見せれるような「市場化」。八方ヶ岳と国見岳にハイキングコース、道を巡りながら散策する街エリアを作る。	40代男性、70代女性
山鹿灯籠まつりの際の駐車場、出店が少ない。山鹿市役所の障害者用の駐車場に屋根が無いので不親切。	60代性別回答無し
観光地の認知度UPのための広告(SNS等の利用)。スポーツイベント・音楽イベント等の充実。	20代女性
観光で来ても、スポットが分散し、車やタクシーがないと楽しめない。(車なしの観光客が来づらい)。	40代男性

<p>観光をレトロ押しで進める。 栗を押しているが、認知度がイマイチ。ブランディング強化すべき。 お店が少なく、エリアが狭い。</p>	30代女性
<p>たくさんの文化財が粗雑に扱われている。文化財と観光の一本化。 農産物のPR強化。プラザを大物産館及び博物館にする。 豊前街道を熊本市内及び熊本に出張に来た人、遊びに来た人をターゲットにしてほしい。山鹿にきて見学に時間が足りなかったという声が多数あり、山鹿に宿泊して、ビジネス、または熊本の市内観光もできるというPRが必要。</p>	50代女性
<p>山鹿の灯笼・百華百彩・山鹿温泉・八千代座などのPRの仕方。</p>	40代男性、 50代女性、60代女性、 70代女性、 30代性別回答無し
<p>想像をたくましくして、新しいものや新しい事を作り出す必要がある。 自治体の観光事業など、どこも横並びの同じものが多いように思う。</p>	60代女性
<p>山鹿市にある古墳や土器などの保管場所の充実。 山鹿で出土した土器や装飾等を用いてイベント開催(県外への出典もあり) 又、 山鹿の土器やマスコットキャラクター、ご当地グルメや商品のNFT(非代替性トークン)の販売 その収益で得られたモノを市政や公共サービス、運営等に分配。</p>	30代男性、40代男性

地域活性化、中心市街地開発	年代・性別
<p>山鹿市内にお洒落なカフェやお土産屋などの一体型商業施設があればもっと人が集まると思う。</p>	30代女性
<p>鹿本地域にゆめマートのような商業施設がほしい。</p>	30代男性、40代男性
<p>これからの山鹿、若い方に頑張ってほしい</p>	70代女性
<p>高齢者が住みやすい地域になってほしい。活気あふれる地域になってほしい。</p>	30代男性、40代女性
<p>インスタにあげられるようなオシャレは視点もとりいれたまちづくり町全体の外観も考えてほしい。</p>	50代女性
<p>習い事や趣味のサークルなど、大人向けのものがあればうれしい。</p>	30代男性
<p>山鹿市内だけでなく、郡部の発展も考えてほしい。小学校もなく、子供も少ない、淋しくなる一方。高齢者だけの集落となり、崩壊になりつつある。</p>	50代女性
<p>鹿北市民センターに (Wi-Fi スポット (学習室) 茶のみスペース) をおいてほしい。</p>	40代女性
<p>映画館やレジャー施設があれば、もっと人が山鹿に集まってくる。</p>	20歳未満男性、20代男性、 60代女性(2名)、 70代女性

山鹿温泉プラザ内、またさくら湯周辺の活性化。	30代男性、60代男性、40代女性、50代女性、60代女性
衰退するばかりの農林業の活性化。	60代女性
宇城市にある「不知火美術館・図書館」のようなカフェを併設した図書館を作ってほしい。	40代女性
大きな企業の駐車場のスペースが空いている所を利用し、喫茶店などを建ててくれるとありがたい。	40代女性
山鹿市の広い農地を生かして、スマート農業による農業の効率化、若者の就農者を増やしていき、食べ物で地域を活性化してはどうかと思う。スマート農業に関しては、国内外の先進事例を見る機会を設け、県の農業機関や大学と連携して推進してはどうかと思う。	40代男性
スポーツ施設の充実(夜間ナイター用照明)。隣接する宿泊施設建設。山鹿市主催で、eスポーツ重大イベント誘致(プロゲーマーを招致)それに伴うeスポーツ施設建設や空き店舗の利用。	30代男性
パチンコ店を減らす。	20歳未満男性、40代女性
2,000人程度収容できるコンサート会場の設置。	70代男性
町の中心をどうするか、豊前街道地区の賑わいと連動される形で取り組みが必要ではないか。特に、補助金の確保のためにも国土交通省の「立地適正化計画」のプランニングをお願いしたい。	60代男性

雇用対策、人材育成	年代・性別
灯籠踊り保存会を職業にする。(就職支援につながるのでは?現在は別の仕事をしている方などで活動されているので十分なPRができていない。職業化することにより活動先も広がるのではないか。)	50代女性
雇用場所を増やす。	40代男性、60代男性、20代女性、30代女性、60代女性(4名)
栗、竹等の若者の担い手の育成強化(支援金、補助金等)。	30代女性
若者の就労支援の活性化。	70代男性、40代女性
鹿本商工が熊本で唯一の商業・工業がある学校と聞いた。就職先も良いと聞いたので、もっとアピールしていくと良いと思った。	40代女性
人口減少が今後も進むため地元に住み続け地域の核になるような職員採用。	40代男性

交通アクセスの改善	年代・性別
交通アクセスの改善。	20歳未満男性(3名)、 20代男性、40代男性、 70代男性、 20歳未満女性、20代女性、 30代女性(3名)、40代女 性、50代女性(3名)
あいのりタクシーの土・日・祝の値段を安くしてほしい。	40代女性
ジャンボタクシーもあいのりタクシーの改善。(便を増やしてほしい)	80歳以上女性(2名)
幹線道路の拡充。	70代女性
運転免許証返納(高令の方)時、タクシー券やバス乗車時のサービス等の充実。	70代女性
国道325号線を2車線にすること。	20代男性
電車の駅を設置してほしい。	20代男性、20代女性

その他	年代・性別
山鹿市がやっている取組がわからない。政策の実感がない。	20代男性、40代男性、 50代男性、60代男性、 20代女性、30代女性、50 代女性(2名)、70代女性
行政の指導力強化。	70代男性
議会における男女比を50%50%にする。議員の平均年齢を下げる。	40代女性
長期的な戦略計画と資金投資。	70代女性
高齢化社会対策	60代男性、 20代女性、50代女性(2 名)、60代女性(2名)、 70代女性
弱い立場の人が安心して暮らせるまちづくり。	50代女性
アンケートの中身を再考してほしい(答えづらい項目が多い)。	70代男性
山鹿市役所のホームページは見にくい。もっと力を入れてほしい。	30代男性、60代男性、 30代女性(2名)
公務員制度、並びに税金の活用の見直し。全体的な税率の軽減。	30代男性
市営住宅を拡充してほしい。	40代男性
TSMC効果を山鹿にも、取り組みが必要。	60代女性

防災（特に地震対策）関係にもっと力を入れて欲しい。	70代男性、 50代女性、60代女性
先ず現状ある課題や問題を少しでも無くす方での取組みを行う事で、新しく必要となる取組みも見えてくると思う。 これから時代の流れがますます早くなるので、行政として対応スピードが1つ鍵となると思う。	40代男性
農家への支援	30代男性、60代女性
中高年メインでは無く、これからは創っていく若年層世代の意見がメインになるといい。	30代男性

Ⅷ. 市民アンケート総括

<山鹿市の現状について>

- ・人口減少については、「危機感がある」が 39.5%、「少し危機感がある」が 34.0%となっており、約7割が危機感を感じている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・元気度については、前回と同様に、「活気はない」「あまり活気はない」の合計の割合が6割近くとなっている。
- ・農林業の現状についても前回と同様に、「衰退している」「少し衰退している」の合計の割合が6割近くとなっている。
- ・観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計が39.5%となり、前回より10ポイント以上増加している。

<人口政策について>

- ・人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が28.4%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」27.6%、「移住定住の促進」18.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の27.6%となっており、これに「小児医療体制の充実」21.9%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」19.7%が続いている。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「夢と希望を叶える就労支援事業」の25.1%となっている。
- ・重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）として、「夢と希望を叶える就労支援事業」、「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」、「新規就農総合支援事業」、「小児医療体制の充実」が挙げられる。

<自由記述から>

「夢と希望を叶える就労支援事業」

- ・若者、女性、障がいのある人など就労を希望する方に対し、就労支援を行う取組や、働く場所がない、若者の就労の場がない、障がいのある人が安心して働ける場もないため若者の流出を防ぎ定住に繋がる環境が整っていないことを示唆する意見が多くなっている。
- ・賃金の低さと福利厚生が薄さや若者や子育てする女性の就労場所の少なさなどが人口流出の原因であるとの意見もあった。
- ・上記のような状況を打開するために、企業誘致による雇用確保についての提案が多かった。

「医師・看護師就学資金を活用した人材育成」

- ・育成支援の存在自体を知らないなど、制度に対する周知や認知度不足の声が多かった。
- ・高度な医療を必要とする場合山鹿では難しい、医療従事者にとって山鹿市は魅力に欠けるなどまずは就業環境の改善が必要との意見もあった。
- ・市内での医師・看護師不足や高齢化、乳幼児の夜間や急患への対応が不十分と指摘する声もいくつか寄せられており、特に小児科や産科、専門医の常駐、救急医療の充実が求められている。

「新規就農総合支援事業」

- ・後継者・若者の人材不足や重度の高齢化、跡継ぎがおらず自分の代で終わらせるとの意見が多く、後継者育成、補助金等の充実、耕作放棄地の支援などを求める声があった。
- ・本市の基幹産業である農業を支えることを目的に人材育成を支援する事業だが、事業を知らないという意見が多く寄せられており、事業の周知やアピール力が求められている。

「やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）」

- ・空き家バンクの売り主と移住者のニーズがマッチしていない、空き家が多数存在しているのに何も対応していないように見受けられるなど空き家対策に対する疑問の声や、情報が少ない、動きが見えないなど事業の周知・認知に関する意見が多く寄せられている一方で、空き家のリフォームや山鹿に移住したいと思えるような住みやすい環境づくりが必要という提案もあった。

「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」

- ・高齢者だけではなく、様々な障がいを持つ方、貧困家庭への支援体制が不十分という意見があった。
- ・行政と地域の連携不足や相談する場・人が不足しており、どこに相談すればいいかわからないなど相談窓口の周知・認知度不足を指摘する意見も多く寄せられている。

「山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進」

- ・取組自体を知らないなどの周知・認知度不足を指摘する意見が多く寄せられており、和水町以外に都市部やTSMC関連、活力のある自治体と連携した方がよいとの意見があった。

「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」

- ・山鹿市は災害に強い地域だが、水害がありハザードマップに載ってない冠水箇所などがある、避難所の少なさ、事前防災減災に対する意識が薄いなどの意見があった。迅速な対応と長期的な災害対策、危機管理対策、防災対策の充実が求められている。
- ・住民に対しての防災・減災意識の向上へのアプローチ、具体的防災訓練、周知などが必要との提案もあった。

「小児医療体制の充実」

- ・医師の高齢化と不足、産科、婦人科、小児科の不足、時間外や夜間、休日、急患、重症化に対応できる施設の不足など、市内での小児医療体制に不安を抱く人たちの意見が多数寄せられており、市外への流出を防ぐためにも夜間診療できる救急医療体制の整備、休日医療対応の充実が求められている。
- ・子どもが医療を必要とするときに近隣の都市まで出向く不便を訴える意見もあり、市民医療センターの拡充と質の向上を期待する声も多く挙げられている。

「母子保健事業」

- ・不妊治療費用を含む妊娠・出産を支援する事業であり、事業に関連する産婦人科の不足を訴える意見が数多く寄せられている。
- ・山鹿市内から熊本市や福岡など他の所で受診している人が多いという指摘もあり、若者が定住するための重要な条件となる安心して子育てできる体制や環境づくりが求められている。
- ・具体的な取組内容、体制支援の実態の周知・認知度不足などの声も多く寄せられている。

「子育て支援事業」

- ・子どもが18歳になるまで医療費がかからないことを評価する一方で、産婦人科不足、小児医療や救急医療体制が市内で整っていないことを指摘する声もあり、小児医療・母子保健事業・子育て支援事業が課題であり、子育てしやすい環境づくりが求められている。
- ・保育所の充実と病後児保育など、出産から未就学児までの期間を支援する体制が不足しているとの指摘もあり、妊娠、出産、保育、教育までの子育てをシームレスで支援する体制の構築が求められている。

<経済政策について>

- ・経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が45.7%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」29.7%、「新たな交流の促進」13.0%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・経済政策の満足度について「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」の31.0%となっている。
- ・経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割前後と高く、その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」は60.3%で最も高くなっている。
- ・重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」が挙げられる。

<自由記述から>

「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」

- ・観光地にするには交通が不便など交通インフラの不足を指摘する声挙げられている。
- ・「eスポーツイベント」の今後の動きに期待する声がある一方で、eスポーツの推進には人口密度が足りない、eスポーツにこだわらなくても山鹿には祭り、温泉といった資源があるにもかかわらずまだまだ活かしきれていないのではといった市民のeスポーツへの理解度が浸透していない意見も多く寄せられている。

「観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）」

- ・福岡をターゲットとすることに疑問視する声も寄せられており、全国や海外にも目を向け市内全体の魅力を踏まえたプロモーションを提案する意見があった。
- ・公共交通機関や駐車場の不足、鉄道やバスなどの交通アクセスの整備の必要性を訴える声も多く挙がっている。

「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」

- ・お金をかけている割に成果はどうかなど費用対効果を疑問視する意見も多く挙げられている一方で、海外展開などグローバル化重視でインバウンドの需要に応える戦略に取り組むべきという提案もあった。
- ・新シルク蚕業については、どのようなことを行っているのかを知りたいという意見も多く、ワイナリーとともに認知度の低さ、PR不足、交通アクセスの不便さを指摘する意見もあった。

「スポーツコンベンション誘致推進事業」

- ・ハンドボール以外にもスケートボード等オリンピック新競技ができる場所の設置、プール、トレーニング施設、空調等の設備、カルチャーセンターの充実などの提案が寄せられた。
- ・スポーツ合宿などには温泉は魅力のひとつであり、温泉を絡めての誘致活動支援に期待したいとの意見もあった。

「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」

- ・豊前街道だけが山鹿ではないなど、山鹿市全体への気配りを求める声がいくつか挙げられている。
- ・空き家・空き店舗のことなど市の予算を使った支援への疑問なども挙げられた一方で、空き店舗でのコワーキングスペース利用、小中高の放課後ルームや部活利用、駐車場整備など数多くの提案も寄せられた。

「山鹿米のブランド化と販路拡大」

- ・広告宣伝の充実、米の他にスイカ、梨、栗、茶など総合的に宣伝が必要との提案が寄せられている。
- ・高齢化、後継者不足、宣伝不足、農家への支援、販路拡大などの課題も挙げられた。

「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」

- ・高齢化による省力化の必要性や今後の農業に従事する人の減少を考えるとスマート農業での業務効率化や若者の農業従事を促進する必要があるとの声がある一方で、スマート農業の前に後継者の育成の方が先、スマート農業は多少の省力化にはなるが結局人がついていないといけないうものが多く農業の拡大、生産性向上、品質向上には繋がりにくいとの意見もあった。
- ・農薬散布に疑問に思う声やスマート農業をしているところを見たことがないという意見もあり、認知度や理解度の向上が大きな課題であることも示唆された。

<山鹿市総合計画について>

- ・将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・総合計画の先導施策の満足度についてみると、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」32.6%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の 17.6%となっている。
- ・重要度については、「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」の割合が 71.0%と最も高くなっている。
- ・重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てできるまちづくり」、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」が挙げられる。

<自由記述から>

「多彩な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり」

- ・ 山鹿市の施策が市民に示されているのか疑問に思う。伝統工芸、日本遺産、就農くらいに選択と集中で絞って施策の検討、実行をした方がいいのではないかとの意見があった。
- ・ 雇用創出という面では大企業の誘致やT SMC対策を求める意見もあり、伝統工芸の後継者問題や山鹿ブランドの担い手育成など人づくりの重要性を指摘する声もあった。

「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」

- ・ 若者が増え結婚、出産、子育てができる環境づくりの視点で、雇用の場、出会いの場、医療で困らない子育て環境、保育所、学校、交通アクセス、子育て支援などについて、様々な意見が寄せられた。

「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」

- ・ 本市の未来を担う有望な人材を育成するという事業に対して、若者が働く場、企業誘致、交通アクセスの改善など雇用環境づくりを指摘する意見が多く寄せられている。
- ・ 職業体験や様々な職種の方達との交流や機会、国際交流の場を設けること、企業と学生とのインターンシップの充実といった提案が多く挙げられている。

「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」

- ・ 安全・安心で災害に強い住み続けたいまちを作っていくために必要な、災害に強い社会インフラの整備、洪水対策、災害時の支援内容の周知、避難所、各地域における備蓄品の確保など、さまざまな意見が寄せられている。

「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」

- ・ 医療機関の充実を求める声が多かった。
- ・ がん検診も必要だが、体を動かせる施設やジムを増やし運動することを促進するなどの提案も多く挙げられている。

<山鹿市に対する考えについて>

- ・ 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が44.3%、「暮らしにくい」が16.3%、「どちらでもない」が35.9%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・ 「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計が70.4%で7割の方が住み続けたいと回答している。R4年度と比較すると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の割合が減少し、「市外へ転居したい」もわずかに減少している。
- ・ 「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した方の理由としては、「自然環境に恵まれている」の割合が52.9%で最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.8%、「地域での人間関係がよい」28.6%となっている。R4年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が減少している。
- ・ 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が52.9%と最も高く、次いで「企業誘致の推進」45.6%、「若者の就労支援の充実・強化」44.3%「子育て支援の充実・強化」44.2%となっている。

<自由記述から>

「暮らしにくい理由」

- ・ R4 年度調査と同様に、公共交通機関の少なさなど「交通アクセスの不足」による買い物や通院の不便を訴える意見が多くみられた。またあいのりタクシーの不便さの意見もあった。
- ・ 「医療機関をもっと充実してほしい(特に小児科)」「車がないと生活が成り立たない地域がかなり多い」「買い物や通院などが大変」「働く場所が少ない、給与が少ない」「交通アクセスがバスだけ、そのバスも運行本数が減った。大きな病院は熊本市内しか無い事。」「水道代、税金が高すぎる」などの意見もみられた。

「市外へ転居したい理由」

- ・ 「交通・買い物・医療等の不便」を訴える意見が多くみられた。
- ・ 「活気・楽しみの不足」「進学や雇用環境」「医療・福祉」「行政の対応」を転居理由とする意見もみられた。